

Title	慶應義塾大学環境情報研究所1995年度年次報告書
Sub Title	Annual report 1995 Keio Institute of Environmental Information, Keio University
Author	慶應義塾大学環境情報研究所(Keio gijuku daigaku kankyo joho kenkyujo)
Publisher	慶應義塾大学湘南藤沢学会
Publication year	1996-06
Jtitle	慶應義塾大学環境情報研究所年次報告書 (Annual report, Keio Institute of Environmental Information, Keio University).
JaLC DOI	
Abstract	本書は、慶應義塾大学環境情報研究所1995年度年次報告書である。1995年度環境情報研究所活動記録 (SFCコンソーシアム、受託研究、共同研究、受託研修、湘南藤沢学会、研究員 (常勤) ・ 訪問所員、研究員 (訪問) 、環境情報研究所活動、研究環境整備、研究集会・シンポジウム等、招待講演) と、環境情報研究所所員業績報告の2部で構成されている。
Notes	
Genre	Technical Report
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=09195637-1995

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

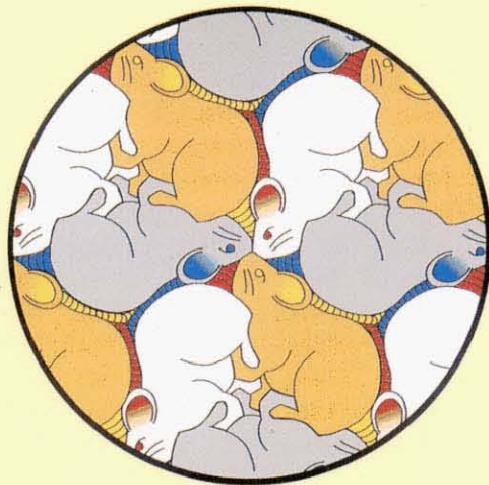
ISSN 0919-5637

慶應義塾大学環境情報研究所

1995年度 年次報告書

Annual Report 1995

Keio Institute of Environmental Information
Keio University



年次報告書の発行にあたって

環境情報研究所は、このキャンパスの発足に伴って出来た環境情報学部の附属の研究所として設置された。キャンパス内では、総合政策研究所、言語コミュニケーション研究所と一緒に活動が続け、キャンパス内のさまざまな研究活動の活性化、支援などを行ってきた。大学における研究活動の活性化は、つまり所教育活動の活性化につながるものである。具体的には、各種外部活動の受け入れや支援組織の活動、教育活動の直接的支援、研究情報の広報や交流、共通の情報資源の提供などを行ってきた。

このような中で、大学における研究活動は、ますますその範囲を拡大し、片手間に引き受けるというだけでは、なかなか対応しきれないという状況になってきている。外部の企業、研究組織、政府機関、公共団体、他大学、海外研究機関などから、多くの期待や要望もこのキャンパスに寄せられてきた。そのような状況の中で、研究活動の支援体制を確立すること、外部とのインタフェースを一本化して明瞭にすること、新しい研究活動を起動しやすいこと、研究支援の人材確保がスムーズに出来ること、最終的にはSFC全体の研究教育活動が大いに活性化することなどを考えて、キャンパス全体として一つの研究所に統合化するという提案が数年前から提起されてきた。こうすれば、さまざまな組織管理を簡潔かつ明瞭化し、SFCの教職員、大学院生、学部生の総力を結集することが可能となるのではないかという期待が大きい。

この研究所統合化は、ようやく実現する見通しとなった。したがって、この年次報告書は、環境情報研究所として最後のものになる。小さな研究所が統合化してより強力な組織として再編されるのであり、いちまつの淋しさを越えて、新しい組織への期待が膨らむものである。今後、環境情報研究所の活動は、全て新しい統合化研究所に引き継がれていくはずであり、さらに新たな活動をどんどん進めて行くことと思われる。今まで以上に、皆さんの御協力、御指導、御鞭撻をお願いする次第である。

1996年6月

環境情報研究所
所長 斎藤信男

慶應義塾大学 環境情報研究所 1995 年度 年次報告書
Annual Report 1995 Keio Institute of Environmental Information
Keio University

目次

- | | | |
|----|---------------------|----|
| 1. | 1995 年度 環境情報研究所活動記録 | 1 |
| 2. | 環境情報研究所所員 業績報告 | 21 |

1995 年度環境情報研究所活動記録

環境情報研究所

1 SFC研究コンソーシアム

1. VOICE

参加所員 (総合政策・井関 利明), 赤木 昭夫, 熊坂 賢次

運営メンバー参加企業 インテルジャパン (株), 日本電気 (株), マイクロソフト (株), ロータス (株)

研究メンバー参加企業 (株) イトーキ, インテルジャパン (株), サンワサプライ (株), 日本電気 (株), 日本電信電話 (株), マイクロソフト (株), 三菱電機 (株), (株) 日本経済新聞社, ロータス (株), ベルシステム (株), 凸版印刷, (株) 電通総研

発足日 1992 年 12 月 1 日

2. オープンメディア研究プロジェクト

運営メンバー参加企業 日本アイ・ビー・エム (株), (株) リコー (中央研究所)

(a) オープン情報ベース

参加所員 斎藤 信男, 徳田 英幸

研究メンバー参加企業 日本アイ・ビー・エム (株), (株) 日立製作所, (株) P F U

発足日 1992 年 12 月 1 日

(b) オープン分散サービス

参加所員 萩野 達也

研究メンバー参加企業 オムロン (株), (株) ビクター・データ・システムズ, (株) リコー (先駆技術研究所)

発足日 1992 年 10 月 1 日

(c) EEN プロジェクト

参加所員 斎藤 信男, 金子 満, 有澤 誠, 大岩 元

研究メンバー参加企業 (株) エムケイ,(株) メディアレモラス, 日本情報
通信コンサルティング (株),(株)SANKYO, 東映動画 (株), セントラ
ルサービス

発足日 1993年4月1日

(d) 対話型知識ベース構築支援システム

参加所員 石崎 俊,(言語コミュニケーション研究所: 田中 茂範), 今井
むつみ,(総合政策研究所: 深谷 昌弘)

研究メンバー参加企業 (株) ジャストシステム, 大日本印刷 (株)

発足日 1994年9月1日

(e) 知的財産権情報の流通システム

参加所員 苗村 憲司

研究メンバー参加企業 NTTデータ通信 (株)

発足日 1994年9月1日

3. COLOR AS A CONCEPT

参加所員 藤幡 正樹,(総合政策研究所: 井関 利明)

研究メンバー参加企業 キヤノン販売 (株)

発足日 1993年9月15日

4. 高度情報インフラストラクチャの構築

参加所員 村井 純, 中村 修

研究メンバー参加企業 NTTデータ通信 (株),(株) インターネットイニシアティ
ブ, 日本シテイメディア (株),(株) 富士通研究所, トヨタ自動車 (株),(株) 日
立製作所, ソニーシステムデザイン (株),(株)NTTPC コミュニケーションズ,
沖電器工業 (株)

発足日 1994年2月1日

5. マルチメディア教育ネットワークシステム

参加所員 斎藤 信男, 安村 通晃, 萩野 達也

研究メンバー参加企業 NTTデータ通信 (株), 三菱電機 (株)

発足日 1994年4月1日

6. 医療・福祉研究プロジェクト

参加所員 (丸尾 直美, 池上 直己 : 総合政策研究所)

研究メンバー参加企業 (株) ライフデザイン研究所

発足日 1995年10月1日

7. GIS-GPS LINK

参加所員 久保 幸夫, 巖 網林

研究メンバー参加企業 東京ガス(株), (株)パスコ

発足日 1995年4月1日

8. 知の共有化プロジェクト

参加所員 斎藤 信男, (花田 光世: 総合政策研究所)

研究メンバー参加企業 112年三田会, (株)インターネットイニシアティブ

発足日 1995年4月1日

9. VCOM

参加所員 (金子 郁容: 総合政策研究所)

研究メンバー参加企業 (株)野村総合研究所, 日本電気(株), ニフティ(株), 日本サン・マイクロシステムズ(株), 編集工学研究所, 富士通(株), 淡路島インターネット協会

発足日 1995年4月1日

2 受託研究

1. マルチメディア統合環境基盤ソフトウェアの研究開発プロジェクト (IPA)

受託所員 斎藤 信男, 徳田 英幸, 萩野 達也

委託者 情報処理振興事業協会

共同研究者 (株)ソニー, オムロン(株), 日本アイ・ビー・エム(株), 横河電機(株), (株)リコー, (株)日立製作所, 横河ヒューレットパカード(株), (株)システムコア, 富士ゼロックス(株), (株)富士通研究所, (株)富士通ソーシアルサイエンスラボラトリ

契約日 1992,12,1

契約期間 1992,12,1~1996,3,31

2. 臨場感通信会議の将来形態に関する研究

受託所員 相磯 秀夫, 安村 通晃

委託者 (株)ATR 通信システム研究所

契約日 1992,9,1

契約期間 1993,9,1～1996,12,22

3. KL1 による分散 AI に関する調査研究

受託所員 古川 康一, 向井 国昭, 萩野 達也, 服部 隆志, 今井 むつみ

委託者 (財) 新世代コンピュータ技術開発機構

契約日 1993,7,1

契約期間 1993,7,1～1995,2,28

4. インタラクティブプロトタイプソフトの研究開発

受託所員 相磯 秀夫

委託者 (財) ハイビジョン普及支援センター

契約日 1993,9,1

契約期間 1993,9,1～1995,3,31

5. デジタル・データの印刷地図への応用

受託所員 久保 幸夫

委託者 表現研究所

契約日 1994,6,1

契約期間 1994,6,1～1995,3,31

6. 三次元曲面生成ソフトウェアの開発

受託所員 千代倉 弘明

委託者 アイシン・ニューハード (株)

契約日 1994,7,1

契約期間 1994,7,1～1996,3,31

7. 21 世紀の不動産業の将来ビジョンおよび提案の作成— ビジョン 21 委員会 —

受託所員 高橋 潤二郎

委託者 (社) 不動産協会

契約日 1994,7,31

契約期間 1994,8,1～1995,7,31

8. M3K:超分散超並列環境のためのオペレーティングシステムカーネル

受託所員 相磯 秀夫, 徳田 英幸

委託者 情報処理振興事業協会

契約日 1994,10,1

契約期間 1994,10,1～1995,3,31

9. SE 向け新入社員教育カリキュラムの作成 並びに SE 適性検査ツールの研究

受託所員 大岩 元

委託者 沖通信システム (株)

契約日 1994,10,1

契約期間 1994,10,1～1995,9,30

10. ネットワークを用いた広報支援に関する基礎研究実験

受託所員 武山 政直

委託者 ニチメングラフィックス (株)

契約日 1994,10,1

契約期間 1994,10,1～1995,3,31

11. マルチメディアの研究

受託所員 奥出 直人

委託者 日本百貨店協会

契約日 1994,10,30

契約期間 1994,10,30～1995,11,18

12. マルチメディアを利用した電子出版の研究

受託所員 奥出 直人

委託者 凸版印刷 (株)

契約日 1994,11,1

契約期間 1994,11,1～1995,10,31

13. 携帯型電子新聞プロトタイプにおけるコンテンツの研究

受託所員 有澤 誠

委託者 大日本印刷 (株)

契約日 1994,11,15

契約期間 1994,11,15～1995,3,31

14. 教育用先進的ソフトウェア（人体ウォークスルー）開発

受託所員 千代倉 弘明, 萩野 達也

委託者 情報処理振興事業協会

契約日 1995,1,25

契約期間 1995,1,25～1995,7,31

15. インタラクティブ・メディア・コミュニケーションの運用実験

受託所員 相磯 秀夫

委託者 (財)ハイビジョン普及支援センター

契約日 1995,1,31

契約期間 1994,9,1～1995,3,31

16. 形状可視化システムの研究

受託所員 千代倉 弘明

委託者 (株)リコー

契約日 1995,2,1

契約期間 1995,2,1～1996,3,31

17. 国際デザインセンター・デザインネットワークシステム調査研究

受託所員 奥出 直人

委託者 (株)国際デザインセンター

契約日 1995,2,15

契約期間 1995,1,1～1995,7,31

18. マルチメディア統合環境ソフトウェアの研究

受託所員 斎藤 信男

委託者 三星電子(株)

契約日 1995,3,22

契約期間 1995,4,1～1997,3,31

19. 高度情報インフラストラクチャと社会環境

受託所員 村井 純

委託者 (株) 富士通研究所

契約日 1995,4,1

契約期間 1995,4,1～1996,3,31

20. Smart Collar Club のプロデュース業務

受託所員 奥出 直人

委託者 (株) 三菱総合研究所

契約日 1995,4,1

契約期間 1995,4,1～1996,3,31

21. コマースアレー

受託所員 奥出 直人

委託者 (株) 高島陽事務所

契約日 1995,4,1

契約期間 1995,4,1～1996,3,31

22. 情報基盤センター（仮称）産業データベースセンターにおける行政情報のデータ
利用加工

受託所員 相磯 秀夫

委託者 情報処理振興事業協会

契約日 1995,4,10

契約期間 1995,4,10～1995,8,31

23. インターネットの効果的利用について

受託所員 奥出 直人

委託者 (株) 資生堂

契約日 1995,4,26

契約期間 1995,5,1～1995,10,31

24. 教育用先進的ソフトウェア（宇宙ウォークスルー）の評価および効果的運用と広
域分散への適用に係わる研究

受託所員 村井 純, 中村 修

委託者 三菱電機 (株)

契約日 1995,5,1

契約期間 1995,5,1～1995,9,30

25. 平成7年度大和市都市計画マスタープラン策定委託

受託所員 日端 康雄

委託者 大和市

契約日 1995,5,31

契約期間 1995,6,1～1996,3,21

26. 「情場理論」に関する調査研究

受託所員 武山 政直

委託者 (株)ソフトピアジャパン

契約日 1995,6,28

契約期間 1995,6,29～1996,3,25

27. モバイルコンピューティングのための動的適応可能なソフトウェアアーキテクチャ

受託所員 徳田 英幸

委託者 (株)CRC 総合研究所

契約日 1995,7,1

契約期間 1995,6,28～1996,2,29

28. マルチメディア・ネットワーク構築に関する調査(その2)

受託所員 石井 威望

委託者 (財)電力中央研究所

契約日 1995,7,4

契約期間 1995,7,4～1996,3,20

29. 電子図書館におけるインターネット活用技術の調査研究

受託所員 村井 純

委託者 (株)日立製作所

契約日 1995,7,13

契約期間 1995,7,13～1995,9,19

30. 高速LANを用いた分散コンピューティング環境の構築

受託所員 村井 純

委託者 富士通 (株)

契約日 1995,7,24

契約期間 1995,6,10～1996,8,20

31. 流域環境指標の開発と適用性に関する研究

受託所員 巖 網林

委託者 (株) 建設技術研究所

契約期間 1995,8,20～1995,10,21

32. Networked Reality 空間 (3次元サイバースペース) におけるマーケティング手法について

受託所員 奥出 直人

委託者 NTT データ通信 (株)

契約日 1995,8,21

契約期間 1995,8,21～1996,2,20

33. サイバービジネスのメディア・リテラシー研修カリキュラム開発と研修実施

受託所員 奥出 直人

委託者 (株) 野村総合研究所

契約日 1995,8,31

契約期間 1995,9,1～1995,12,29

34. 地区計画策定方針及びケーススタディー地区の地区計画 (案) 作成等業務委託

受託所員 日端 康雄

委託者 岡山市

契約日 1995,9,11

契約期間 1995,9,11～1996,3,22

35. コンピュータネットワークにより始まる未来のメディア空間 (メディア・テクノロジーとアート・コンシャスネス)

受託所員 藤幡 正樹

委託者 (財) ソフトピアジャパン

契約日 1995,10,2

契約期間 1995,10,2～1996,3,22

36. 情報基盤センター 教育ソフト開発・利用促進センター 教育用先進的ソフトウェア利用促進環境整備

受託所員 千代倉 弘明

委託者 情報処理振興事業協会

契約日 1995,10,2

契約期間 1995,10,2～1996,1,31

37. KL1 による PROLOG の並列化に関する研究

受託所員 古川 康一

委託者 (財) 日本情報処理開発協会

契約日 1995,10,9

契約期間 1995,7,1～1996,3,31

38. 新産業創造データベースセンターにおける行政統計・地図情報データ投入作業

受託所員 斎藤 信男, (鶴野 公郎: 総合政策研究所)

委託者 情報処理振興事業協会

契約日 1995,12,15

契約期間 1995,12,15～1996,2,29

39. 電子新聞プロトタイプ制作プロジェクト

受託所員 有澤 誠

委託者 大日本印刷(株)

契約日 1995,12,21

契約期間 1995,12,1～1996,3,31

40. 情報技術とホワイトカラー生産性研究会 ～ バリチェーンからのアプローチ ～

受託所員 (印南 一路: 総合政策研究所)

委託者 (株) 野村総合研究所

契約日 1996,1,31

契約期間 1996,2,1～1996,8,31

41. マルチメディア広報事業「インターネット広報映像」

受託所員 武山 政直

委託者 (財) ハイビジョン普及支援センター

契約日 1996,1,19

契約期間 1995,7,3～1996,3,31

42. アイカメラを用いた肌評価

受託所員 福田 忠彦

委託者 鐘紡(株)

契約日 1996,3,14

契約期間 1996,4,1～1997,3,31

43. 新しい眼球運動検出・分析装置開発のための基礎的研究

受託所員 福田 忠彦

委託者 竹井機器工業(株)

契約日 1996,4,1

契約期間 1996,4,1～1997,3,31

44. 自己実現のためのネットワーク型学習環境の開発

受託所員 武山 政直

委託者 (株) ベネッセコーポレーション

契約日 1996,4,11

契約期間 1996,4,11～1997,9,30

45. ピアチーフプロジェクト推進事業

受託所員 奥出 直人

委託者 (財) ソフトピアジャパン

契約日 1996,5,31

契約期間 1996,5,31～1997,3,31

46. ニューラルコンピューティングのイメージ処理問題

受託所員 武藤 佳恭

委託者 (有) ニューラル研究所

契約日 1996,5,1

契約期間 1996,5,1～1997,3,31

47. 3次元都市空間構築のためのデザイン手法の研究及びマーケティングのコンサルティング

受託所員 奥出 直人

委託者 (株)NTT データ通信

契約日 1996,5,20

契約期間 1996,5,20～1996,8,19

48. 地理情報システム

受託所員 久保 幸夫

委託者 (株)富士通

契約日 1996,5,28

契約期間 1996,4,1～1997,3,31

49. コンピュータ音楽の研究

受託所員 岩竹 徹

委託者 日本電信電話(株)基礎研究所

契約期間 1996.6.10～1997.2.28

3 共同研究

1. メディア・テクノロジーとアートコンシャスネス

受託所員 藤幡 正樹

共同研究機関 (財)ソフトピアジャパン

契約日 1994,11,1

契約期間 1994,11,1～1995,3,31

2. 無線高度情報通信システム

受託所員 村井 純

共同研究機関 日本電信電話(株)ワイヤレスシステム研究所

契約日 1994,10,1

契約期間 1994,10,1～1996,9,30

3. インターネットの効果的利用について

受託所員 奥出 直人

共同研究機関 伊藤忠インターネット (株)

契約日 1996,1,11

契約期間 1996,1,11～1996,3,31

4. 大規模広域ネットワークの構築と運用技術に関する研究

受託所員 村井 純

共同研究機関名 (株) エヌ・ケー・エクサ

契約日 1995,7,1

契約期間 1995.7.1～1996.3.31

4 受託研修

1. 株式会社 電通 マーケティング能力開発研修

受託所員 奥出 直人

委託企業 (株) ネクストネットワーク

研修日 1995,2,15

5 環境情報研究所発行物

1. ISSN 0919-5637 慶應義塾大学環境情報研究所 1994 年度 年次報告書 Annual Report 1994, 武藤佳恭 (編),1995.6
2. IEI-RM 「車いす利用者にとっては毎日が障害物競争です」, 依田和夫, 1995.5
3. IEI-RM 二輪車交通事故の認知的分析, 安村他,1995.5
4. IEI-RM 臨場感通信における遠隔プレゼンテーション, 安村他,1995.5
5. IEI-RM IPE 情報処理教育 5 年間のあゆみ, 同資料編, 情報処理担当講師,1995.6
6. IEI-RM 「砂の女」の時間, 江藤淳,95.5
7. IEI-RM 多知覚器官へと向かう眼, 福田忠彦,95.12
8. IEI-RM SFC 環境白書, 久保幸夫編,96.3

9. IEI-RM 臨場感通信会議の将来形態に関する研究：総合報告, 佐藤・津田・伊賀・安村・相磯,96.3
10. IEI-RM 駅における聴環境評価, 福田忠彦監修,96.3
11. IEI-RM 電子新聞プロトタイプ制作, 有澤・慶応 MMM プロジェクト編, 96.3
12. IEI-RM 5年後の情報教育, 萩野達也,96.3
13. IEI-RM マルチメディア外国語学習システムの開発と評価, 安村他, 96.3
14. IEI-RM 障害者のためのコンピュータアクセス '96, 安村他,96.3
15. IEI-RM 生命と情報, 富田他,96.3

6 研究員(常勤)・訪問所員・研究員(訪問)

1. 研究員(常勤嘱託)[担当者]

西尾信彦 [斎藤], 平林真実 [斎藤], 植原啓介 [村井]

2. 訪問所員 [担当者]

ThomasSteven [斎藤], 宮崎一哉 [斎藤], 佐伯俊彰 [斎藤], 山本吉伸 [斎藤], 小野 諭 [斎藤], 塚田野野子 [久保], 菊地高広 [村井], 諸橋正幸 [鶴野], 山下晶夫 [鶴野], 浦本直彦 [鶴野], 武田浩一 [鶴野], 萩野紫穂 [鶴野], 村野正泰 [古川], 和田英彦 [斎藤], 曾根順治 [千代倉], 多田征司 [斎藤], 緒方正暢 [斎藤], 河内谷清久仁 [斎藤], 尾上裕子 [斎藤], 南部明 [徳田], 渡邊朗子 [奥出], 村山正之 [斎藤], 北川 和裕 [斎藤], 磯西徹明 [斎藤], 辻 順一郎 [斎藤], 三浦敦史 [斎藤], 土屋和広 [武藤], 関谷祐美子 [大岩], 蒔田 剛 [藤幡], 小林 隆 [日端], 朴 鴻淳 [斎藤], 三部靖夫 [斎藤], 光澤 敦 [徳田], 藤井哲郎 [相磯], 藤井竜也 [相磯], 盛合 敏 [相磯], 木原誠司 [相磯], 澤邊知子 [相磯], 稲川 淳 [萩野], 木村徹男 [武藤], 菊田昌弘 [武藤], 浅野一夫 [村井], 土居政史 [村井], 三好博之 [斎藤], 林 雅彦 [村井], 登坂章弘 [村井], 渡辺恭人 [村井], 宇治玲子 [大岩], 横田 実 [徳田], 黒岩 実 [徳田], 石井秀浩 [徳田], 岡本利夫 [徳田], 高汐一紀 [徳田], 稲村浩 [徳田], 石上正之 [徳田], 寺本圭一 [徳田], 高野陽介 [徳田], 藤瀬哲朗 [古川], 星野尉治 [村井], 青葉雅人 [武藤], 平林真実 [斎藤], 陳 峰 [久保],

3. 研究員(訪問)[担当者]

松見哲哉 [大岩], 清水浩一 [大岩], 野村純一 [大岩], 福井美津子 [奥出], 松林和彦 [村井], 西村勇太郎 [萩野], 斎藤伸雄 [鶴野], 横田ジーン [武藤], 竹内俊夫 [斎藤], 辻卷伸 [有澤], 宮武 学 [武藤], 斎藤友秀 [斎藤], 戸田好美 [富田], 松永良太郎 [村井], 崎村茂寿 [安村], 藤井敬三 [斎藤], 中澤綾子 [久保], 高島健一 [奥出], 武田圭史 [武藤], 斎藤尚則 [斎藤], 緒方泰彦 [斎藤], 野村高明 [斎藤], 坂田洋幸 [斎藤], 遠藤悦郎 [藤]

幡], 中原孝子 [武藤], 肥後和子 [藤幡], 鷺谷 徹 [藤幡], 倉知隆行 [藤幡], 白谷敏夫 [藤幡], 望主雅子 [安村], 酒寄哲也 [安村], 宮澤紀成 [村井], 呉 世吉 [斎藤], 小野昶二 [武藤], 田頭 浩 [武藤], 水野ひろみ [藤幡], 大里義行 [武藤], 西谷弘毅 [武藤], 前田隆博 [武藤], 赤松浩司 [武藤], 茶志川孝和 [武藤], 栗田伸也 [安村], 小坂隆征 [村井], 川上 修 [有澤], 中村悦夫 [福田], 伊藤櫻エリーサ [武藤], Shakrange T Nandasara [村井], 西村勇太郎 [徳田], 森 康浩 [徳田], 金原弘幸 [徳田], David Blair [村井], 藤本トモエ [武藤], Marline Mallicoat [Nelson], 根岸史郎 [千代倉], 渦原茂 [安村], 長谷川澄雄 [武藤]

7 環境情報研究所活動

1. 研究所会議

(a) 運営会議

1995年1月25日, 2月15日, 3月8日, 3月15日, 4月10日, 5月23日, 12月12日, 1996年1月12日, 4月9日

(b) 所員会議

1995年2月1日, 6月7日, 7月12日, 12月12日, 1996年2月28日, 4月30日

2. SFC 研究コンソーシアム

(a) 運営協議会

1995年1月24日, 2月8日, 1996年6月14日, 7月19日, 9月6日, 10月11日, 11月8日

(b) 第4回 外部説明会

1995年11月24日

8 研究環境整備

1. 研究用機器整備

UNIX WS(NEWS5000), Macintosh Quadra 800, ソニー QL(Windows95), 液晶プロジェクタ, ポータブル液晶プロジェクタ, 液晶プロジェクションパネル, 高輝度OHP(透過型), デジタルスキャンコンバータ, リコープリンタ, OKI Microline(プリンター), Apple Laser Writer(プリンタ), Phaser220J(カラープリンタ), テレビ, ビデオデッキ(VHS), ダブルビデオ(VHS+8mm), 8mmビデオカメラ, ファクシミリ, エプソンカラーレスキャナー, IBM ThinkPad230cs, Mac PowerBook 540c, Acolor620(カラーコピー機), コピー機, OAボード, ポータブルOHP

2. 資料の公開
3. 研究公募・各種シンポジウム等案内

9 研究集会・シンポジウム等

1. 1995年1月21日
「日韓都市比較シンポジウム」
金安 岩男
2. 1995年4月7日
「Nelson 氏を囲んで」
齋藤 信男, Bruce Nelson(米国 Auspex 社)
3. 1995年6月13~17日
ICLP'95(Twelfth International Conference on Logic Programing)
古川 康一
4. 1995年6月21日 SFC ファカルティコロキウム
「最近の生物生態学の研究動向について」
有澤 誠, 太田 俊二 (早稲田大学大学院博士課程)
5. 1995年6月28日 SFC ファカルティコロキウム
「データベースの研究動向について」
-マルチメディアデータベースシステムを中心として-
有澤 誠, 清木 康 (SFC 非常勤講師, 知識ベース論担当)
6. 1995年7月12日 SFC ファカルティコロキウム
「ブレインサイエンスに関する最近の研究動向展望」
有澤 誠, 松本 元 (電子技術総合研究所研究部長)
7. 1995年7月19日 SFC ファカルティコロキウム
「超々高層建築物の構想と実現化」
有澤 誠, 渡部 丹 (清水建設常勤顧問)
8. 1995年10月7日
シンポジウム「未来と過去をつなぐために」(情報基盤センター内)
藤幡 正樹
9. 1995年10月7~8日
日本シュミレーション&ゲーミング学会第7回全国大会
相磯 秀夫

10. 1995年10月8日～28日
The Future of the Book of the Future 展 (情報基盤センター内)
藤幡 正樹
11. 1995年10月20日
電子情報通信学会「電子情報通信技術と知的財産権」研究会
苗村 憲司
12. 1995年11月8日
知的探求セミナー「インターネット時代の経済と企業戦略」
武藤 佳恭
13. 1995年12月13日
JR 東日本寄付講座研究発表会
有澤 誠
14. 1996年3月7～8日
「The First Inter-University Seminar on Asia Megacities」
日端 康雄, 塚越 功, 金安 岩男, 久保 幸夫
15. 1996年3月27～30日
日本地理学会 春季学術大会
金安 岩男, 久保 幸夫
16. 1996年4月23～26日
Network and Operating System Support for Digital Audio and Video'96
徳田 英幸, 萩野 達也
17. 1996年5月22日
電子通信情報学会データ工学研究会
清木 康
18. 1996年5月23日
第108回データベースシステム研究会
清木 康
19. 1996年5月24日
情報処理学会 コンピュータと教育研究会
大岩 元
20. 1996年5月25日
電子通信学会 教育工学研究会
大岩 元

10 招待講演

1. 1995年1月13日
講演者：長谷川修氏（電子技術総合研究所）
「コンピュータがあなたに話しかける日 - マルチモーダル・ヒューマン・インタフェースの現状と未来 -」
担当者：石崎俊
2. 1995年4月6日
講演者：大岡信氏（詩人，東京芸術大学客員教授，朝日新聞「折々のうた」作者）
「日本の詩歌の特殊性と普遍性について」
担当者：岡田隆彦
3. 1995年4月12日
講演者：印東太郎氏（カリフォルニア大学教授，慶應義塾大学名誉教授）
「色彩-いろいろなアプローチ」
担当者：渡辺利夫
4. 1995年6月20日
講演者：Prof.Grudin（理工学研究科，東芝招聘教授）
「Groupware and Social Dynamics」
担当者：大岩元
5. 1995年6月22日
講演者：Prof.David J. Farber(the University of Pennsylvania)
「The Future Impact of Very High Speed Networks on Computer Systems」
担当者：村井純，徳田英幸
6. 1995年9月25日
講演者：Prof.Theodor Holm Nelson
「Xanadu プロジェクトとWWW」
担当者：大岩元
7. 1996年2月9日
講演者：石川准氏（静岡県立大学）
「蛍雪技術から共生のインタフェースへ」
担当者：Access研究会（安村通晃）
8. 1996年4月8日
講演者：Ph.D Christian Huitema(フランス INRIA 研究所所長)
「Future of Internet」
担当者：徳田英幸，村井純，楠本博之

環境情報研究所所員
業績報告

- 氏名 (Name)
相磯 秀夫 (AISO, Hideo)
- 担当科目 (Scholastic Activity:Teaching)
環境情報学 (Introduction to Environmental Information,1995年9月まで), 研究開発 3(メディア)(Research and Development on Media), 自律分散協調論 (Autonomous, Distributed and Cooperative System), 情報処理系論 (Introduction to Computer Systems)
- 研究分野 (Research Areas)
計算機アーキテクチャ(Computer Architecture), 次世代コンピュータ (Next Generation Computers), 環境情報学 (Environmental Information Science)
- 研究プロジェクト活動 (Proposal and Award Activity)
ノーベルコンピューティング (Research Project on Novel Computing)
- 学内委員等 (University Service, Committees etc.)
環境情報学部長 (Dean of the Faculty of Environmental Information,1995年9月まで), 大学院政策メディア研究科委員長 (Chairperson of the Graduate School of Media and Governance), 環境情報研究所長 (Director of the Keio Institute of Environmental Information,1995年9月まで)
- 学会・研究会発表等 (List of Conferences and Seminar Presentations)
 1. “ネットワークによる企業と社会の変革”, グループウェアソリューション’95 コンファレンス, 1995年2月
 2. “最新情報技術がもたらす社会変革”, 日本学術振興会 – 光情報通信技術に関する研究開発専門委員会, 1995年3月
 3. “Multimedia Environments”, International Forum on High Quality Digital Video and Its Impact, 1995年3月
 4. “情報ハイウェイの将来展望” 電子情報通信学会誌,78,4, PP. 421-426, 1995年4月
 5. “高度情報社会において望まれる人材”, 名古屋大学第2回将来構想シンポジウム, 1995年10月
 6. “ネットワーク情報を考える”, 日本シミュレーション&ゲーミング学会全国大会, 1995年10月
 7. “社会を変える情報技術”, 日韓産業技術フォーラム, 1995年11月
 8. “マルチメディア環境”, 情報処理学会研究会, 1995年11月

9. “慶應義塾大学湘南藤沢キャンパスにおけるマルチメディア”,SUT Bulletin,11, pp.9-3, 東京理科大学出版会,1995年11月
 10. “問題発見・解決型教育”, 文部省情報教育セミナー,1995年12月
 11. “情報ハイウェイの将来展望”, 電子情報通信学会シンポジウム,1996年1月
 12. “教育改革 - SFCにおける試行”, Keidanren,1,pp.61-63,2996年1月
- 表彰等 (Honors, Awards, and Special Recognition Received)
 1. 紫綬褒章
 2. 情報処理学会功績賞

- 氏名 (Name)
赤木 昭夫 (AKAGI, Akio)
- 担当科目 (Scholastic Activity:Teaching)
近代科学, 現代科学, 現代技術, 生活情報論
- 研究分野 (Research Areas)
科学史, 技術論, メディア論
- 研究プロジェクト活動 (Proposal and Award Activity)
 1. 認知におけるアフォーダンス
- 学内委員等 (University Service, Committees etc.)
CDP 委員会
- 著書・論文等 (List of Full Length Refereed Papers)
 1. 「インターネット社会論」 岩波書店

- 氏名 (Name)

有澤 誠 (ARISAWA, Makoto)

- 担当科目 (Scholastic Activity:Teaching)

モデルシミュレーション技法, システム論, 環境動態論, 研究会, モデリングシミュレーション法 (大学院), プロジェクト科目 (大学院)

- 研究分野 (Research Areas)

ソフトウェア工学, アルゴリズム論, マルティメディア情報処理

- 研究プロジェクト活動 (Proposal and Award Activity)

1. マルティメディアモデリング (MMM): 慶應義塾学事振興基金
2. 電子新聞 (PPP): 大日本印刷等共同研究
3. 交通運輸情報 (JRE): JR 東日本寄付講座プロジェクト

- 学内委員等 (University Service, Committees etc.)

国際センター副所長, 大学教育委員会委員, 1995年9月まで: 前年度と同じ(環境情報学部長補佐, 学部運営委員など), 1996年3月まで: 大学評議会委員, 1995年10月以降: IPO委員会委員, 財務委員会委員, メディアセンター協議会委員など

- 学外での役員・委員等 (Professional Activities)

電子情報通信学会: ソフトウェアサイエンス研究専門委員, (財)ニューメディア開発協会: 公共分野情報化モデル事業調査委員会委員, (財)マルチメディアソフト振興協会: マルチメディア白書96編集専門委員, 同MMソフト制作者認定試験模擬試験実施WG委員(エンジニア小WG委員長), (財)未来工学研究所: 技術予測調査プロジェクト研究委員, (財)ソフトピアジャパン: 研究開発委員会委員, 東日本旅客鉄道株式会社: JR東日本情報化ビジョン懇談会(座長), 山梨大学: 大学院工学研究科非常勤講師など

- 著書・論文等 (List of Full Length Refereed Papers)

著書 (Books):

1. 朝日現代用語 知恵蔵 1996年版, 朝日新聞社, 1995年11月。(コンピュータ, 巻頭特集インターネット: 分担執筆)
2. 石井威望, 有澤誠, 金安岩男: サイエンスの近未来, 日科技連出版社, 1996年3月.
3. 有澤誠 (訳): ミラーワールド, ジャストシステム, 1996年4月.

4. 有澤誠, 金安岩男, 熊坂賢次 (編): 未来からの留学生, 日科技連出版社, 1996年5月.

報告書 (Reports):

1. マルチメディア白書 1995, (財) マルチメディアソフト振興協会, 1995年7月. (第2部第3章担当編集専門委員)

論文 (Papers):

1. 有澤誠: 慶應義塾大学湘南藤沢キャンパスの授業評価, 工学教育 43-4, 1995年7月.
2. 辻巻伸, 有澤誠: 輸送情報の視覚化について, 電子情報通信学会ソフトウェアサイエンス研究会技術研究報告, 1995-07, 9-14, SS95-11, 1995年7月.
3. 山川総司, 富田修平, 芳賀正謙, 有澤誠: クロスプラットフォーム点リアルタイム3Dグラフィックスライブラリの開発, 電子情報通信学会ソフトウェアサイエンス研究会技術研究報告, 1995-07, 15-22, SS95-12, 1995年7月.
4. 西村剛, 有澤誠: GUIを用いたL-systemエディタの開発, 電子情報通信学会ソフトウェアサイエンス研究会技術研究報告, 1995-09, 65-71, SS95-28, 1995年9月.
5. 明田守正, 有澤誠: 三次元動画をもちいた電子新聞, 情報処理学会情報メディア研究会報告, 1996-01, 9-16, IM-24-2, 1996年1月.
6. 水戸成, 有澤誠: 電子化した総合列車時刻表「ハイパー時刻表」の試作と評価, 電子情報通信学会ソフトウェアサイエンス研究会技術研究報告, 1996-01, 25-30, SS95-39, 1996年1月.
7. 山川総司, 有澤誠: 電子メディアを利用した数理パズル, 情報処理学会情報メディア研究会報告, 1996-03, 1-8, IM-25-1, 1996年3月.

● 学会・研究会発表等 (List of Conferences and Seminar Presentations)

1. インターネットの現状と将来, 広島大学工学部/(財) マツダ財団, 1995年5月26日.

● 解説・評論 (Survey Papers and Critiques)

1. 電子新聞プロジェクト, bit 1995年10月号, 40-43, 1995年9月.
2. エレガントな解をもとむ二敗失格トーナメント, 数学セミナー, 出題1995年10月号, 13, 解答1996年1月号, 88-89, 1995年9月および12月.
3. マルティメディアが作る新しいライフスタイル, 進研ニュース VIEW 21, 1996年3月号 (233号), 52-53(談), 1996年2月.

4. How Should Universities and Railways Cooperate in a New Era, Japan Railway & Transport Review, Number 7, 2-5, March 1996.
5. ハイテク・マルチメディアと通信教育 座談会 通信教育はどう変わるか, 三色旗, 1996年5月号, 9-25, 1996年4月.
6. 新アルゴリズムの玉手箱 (1) 木構造をたどる方法, Computer Today, 1996年7月号, 1996年6月.

- 氏名 (Name)
石井 威望 (ISHII, Takemochi)
- 担当科目 (Scholastic Activity:Teaching)
大学院政策・メディア研究科 (講義): メディア環境基盤論, (プロジェクト科目): マルチメディア・アンビエンス, 環境情報学部: システム論
- 研究分野 (Research Areas)
システム工学, 医用工学, 生産管理, メカトロニクス, 新交通システム, 産業立地, マルチメディア
- 学外での役員・委員等 (Professional Activities)
郵政省郵政審議会会長, 通商産業省産業構造審議会委員, 東京都清掃審議会会長, 東京電力株式会社 顧問, 株式会社三菱総合研究所 理事, 新日本製鐵株式会社 顧問, 株式会社原子力安全システム研究所 顧問,
- 著書・論文等 (List of Full Length Refereed Papers)
 1. 「インターネット進化論」, 95年9月, PHP 研究所
 2. 「シナジェティック・ビジョン」, 95年9月, NTT 出版
 3. 「ウインドウズ 95 から始まる完熟ネットワーク社会」, 95年11月, 徳間書店
- 学会・研究会発表等 (List of Conferences and Seminar Presentations)
 1. マイクロマシン開発はどこまで来たか, 95年4月, (社)日本機械学会
 2. マルチメディアが開く新世界, 95年6月, 電気学会誌
- 解説・評論 (Survey Papers and Critiques)
 1. 産経新聞「正論」, 95年9月
 2. 読売新聞 YEN「異見卓見」, 95年中毎月

- 氏名 (Name)
石崎 俊 (ISHIZAKI, Shun)
- 担当科目 (Scholastic Activity:Teaching)
パターン情報論, 自然言語論 2, シンボルとコラボレーションダイナミクス (大学院)
- 研究分野 (Research Areas)
自然言語処理, 音声情報処理, パターン認識, 人工知能, 認知科学, 機械学習
- 研究プロジェクト活動 (Proposal and Award Activity)
 1. NEDOプロジェクト (代表): メディア情報と言語情報の統合と学習技術の基礎研究
 2. 文部省重点領域研究 (代表): 対話文理解のための解析手法と認知意味論的モデルの研究
 3. 文部省基盤研究B (代表): 言語の状況依存性の認知モデルと文脈理解システム
 4. コンソーシアム (代表): 対話型知識ベースシステムプロジェクト
- 学内委員等 (University Service, Committees etc.)
大学教育委員会委員, Civil Service Orientation Program 委員, メディアネット評議会委員, 言語文化研究所評議員など
- 学外での役員・委員等 (Professional Activities)
日本工業標準調査会情報部会委員, 情報処理学会: 情報規格調査会副会長, 日本認知科学会: 副会長, 常任運営委員, 言語処理学会: 評議員, 編集委員, 情報処理学会: 論文誌編集委員, 人工知能学会: 編集委員, 企画委員, (財) 国際情報化協力センター: 情報技術国際標準化推進委員会委員長, (社) 日本電子工業振興協会: 対話処理技術専門委員会委員長, (社) 電子情報通信学会言語理解とコミュニケーション委員会委員長, 応用人工知能国際会議プログラム委員, 環太平洋計算言語学国際会議 (PACLING) 組織委員
- 著書・論文等 (List of Full Length Refereed Papers)
 1. 石崎俊, 田中茂範, 今井むつみ, 1996年1月, 対話文理解のための解析手法と認知意味論モデルの研究, 文部省科研費重点領域成果報告書
 2. 石崎俊, 1995年4月, 自然言語処理, 昭晃堂
- 学会・研究会発表等 (List of Conferences and Seminar Presentations)

1. 今井豊, 石崎俊, 1996年3月, 比喩理解における顕著な属性の抽出, 電子情報通信学会言語理解とコミュニケーション研究会
2. 大熊智子, 石崎俊, 1996年3月, 認知実験に基づく概念辞書の構築と検索, 情報処理学会自然言語処理研究会
3. 静洋一郎, 石崎俊, 今井むつみ, 事象列の階層化と状況認知的考察, 言語処理学会第2回全国大会
4. 岩田崇, 内山清子, 今井むつみ, 石崎俊, 1995年6月, 動詞の意味変化における目的語名詞の役割の検討, 日本認知科学会第12回大会 PA-8

- 氏名 (Name)
伊藤 滋 (ITOH, Shigeru)
- 担当科目 (Scholastic Activity:Teaching)
研究開発 2(都市), プロジェクト (都市複合空間の環境設計)
- 研究分野 (Research Areas)
都市計画, 国土計画
- 学内委員等 (University Service, Committees etc.)
政策・メディア研究科委員
- 学外での役員・委員等 (Professional Activities)
建設省エネルギー開発機構研究会 (EMS) 委員長, 国土審議会計画部会長, 都市計画中央審議会基本問題部会長, 建築審議会市街地建築分科会委員長, 科学技術庁地震調査研究推進本部政策部会長
- 著書・論文等 (List of Full Length Refereed Papers)
 1. 提言・都市創造, 伊藤滋, 晶文社
 2. 新都市誕生論, 伊藤滋, PHP 研究所
- 学会・研究会発表等 (List of Conferences and Seminar Presentations)
 1. (講演)「マルチメディアと建築」, 日経 BP 社, 95.10
 2. (講演)「国土計画序論」, 日建設計都市経営フォーラム, 96.1
 3. (講演)「都市と文化の未来」, 日本住宅都市整備公団筑波開発局, 96.2
 4. (講演)「都市計画と都市環境」, 堺市役所, 96.2

- 氏名 (Name)
今井 むつみ (IMAI, Mutsumi)
- 担当科目 (Scholastic Activity:Teaching)
情報処理 1a
- 研究分野 (Research Areas)
認知科学 特に言語発達, 認知発達, 言語心理学とその自然言語処理への応用を重点領域とする
- 研究プロジェクト活動 (Proposal and Award Activity)
 1. 英語語彙学習メカニズムへの認知的解明と機械翻訳システムへの応用 (文部省科研費)
 2. 言語の状況依存性の認知モデルと文脈理解システムの研究 (文部省科研費 石崎, 田中と共同研究)
 3. 対和文理解のための解析手法と認知意味論的モデルの研究 (コンソーシアム 石崎, 田中と共同研究)
 4. 暗黙知のモデル化の研究 (慶應大型助成 古川他との共同研究)
 5. 子どもの語意獲得と概念発達 (お茶の水女子大 内田伸子と共同研究)
- 学外での役員・委員等 (Professional Activities)
認知科学会 運営委員
- 著書・論文等 (List of Full Length Refreed Papers)
 1. 今井むつみ (印刷中) ことばの学習のパラドックス: 制約理論の観点から見たことばの意味, カテゴリー, 概念の発達. 認知科学モノグラフシリーズ 共立出版
 2. Imai, M. & Gentner, D. (in press) A crosslinguistic study on constraints on early word meaning: Linguistic influence vs. universal ontology. *Cognition*.
 3. Imai, M. (1996) Asymmetry in the taxonomic assumption: word learning vs. property induction. *Child Language Research Forum*, 27. Cambridge University Press.
 4. Wisniewski, E. , Imai, M & Casey, L. (in press). On the equivalence of superordinate concepts. *Cognition*.
 5. 内田伸子, 今井むつみ (印刷中) 幼児における助数詞の獲得過程 — 生物カテゴリーの形成と助数詞付与ルールの獲得 — 教育心理学研究

6. 石崎俊, 今井むつみ (1995) メタファーの認知プロセスとコンピュータシステム慶應義塾大学湘南藤沢キャンパスメタファー研究会編 「意味の創造と変容」

- 学会・研究会発表等 (List of Conferences and Seminar Presentations)

1. 今井むつみ, 内田伸子 (1995年9月) 幼児における名詞と助数詞の意味的制約. 教育心理学会
2. 内田伸子, 今井むつみ (1995年9月) 助数詞の獲得における知覚的次元の役割. 教育心理学会
3. Imai, M. (1995, July). Development of a bias toward language-specific categories. International Cognitive Linguistic Association. Albuquerque, New Mexico.
4. Muehleisen, V. & Imai, M. (1995, July). Transitivity and incorporation of Ground information in Japanese Path verbs. International Cognitive Linguistics Association. Albuquerque, New Mexico.
5. 岩田崇, 内山清子, 今井むつみ, 石崎俊 (1995年6月) 動詞の意味変化における目的語名詞の役割の検討. 認知科学学会
6. 中西卓哉, 長谷川修, 山本和彦, 今井むつみ, 石崎俊 (1995年6月) 空間指示語と想起される認知領域の基礎研究, 認知科学学会
7. Imai, M. & Uchida, N. (1995 April). Examination of the taxonomic constraint and the shape bias in Japanese children. Biennial Meeting of the Society for Research in Child Development. Indianapolis, Indiana.
8. Gentner, D. & Imai, M. (1995, April). Linguistic relativity vs. cognitive universals in early word meanings. Biennial Meeting of the Society for Research in Child Development. Indianapolis, Indiana.

- 表彰等 (Honors, Awards, and Special Recognition Received)

- 発達科学研究奨励賞 (1995年10月)

- 氏名 (Name)
岩竹 徹 (IWATAKE, Tohru)
- 担当科目 (Scholastic Activity:Teaching)
コンピュータミュージック, 音像環境論, メディア空間論, プロジェクト
- 研究分野 (Research Areas)
神経生理学に基づく感情の理論, 音響ゲシュタルト形成, デジタル音響合成, 生体情報による直接的な音響生成などを応用したヴァーチャルな音響芸術の創造
- 研究プロジェクト活動 (Proposal and Award Activity)
 1. 「音像メディア環境に於ける身体-環境系の感情的インタラクションに関する研究」 (人工知能振興研究財団および大川情報通信基金より研究助成)
 2. 「サイバー・エデュテイメント・システムの開発とプレゼンテーション」 (中山隼雄科学技術文化財団より研究助成)
- 学内委員等 (University Service, Committees etc.)
ステューデントライフ委員会
- 著書・論文等 (List of Full Length Refereed Papers)
作品
 1. タイトル:「コンピュータ音響のための ”A Ruin under the Full Moon”」
初演データ:「Musicana95-International Festival of Electroscoustic Music」
初演日時と場所:1995年9月3日 デンマーク・ルイジアナ現代美術館
 2. タイトル:「笙とコンピュータのための ”虹の霞”」
初演データ:神戸国際現代音楽祭
初演日時と場所:1995年11月4日 神戸ジーベックホール
再演日時と場所:1995年11月18日 横浜美術館
- 学会・研究会発表等 (List of Conferences and Seminar Presentations)
 1. 講演:「Unix/Sparc システムテクノロジー・フォーラム 96」
主催:日経新聞社
協賛:日本サン・マイクロシステムズ
日時:1996年3月21日

- 氏名 (Name)
江藤 淳 (ETO, Jun)
- 担当科目 (Scholastic Activity:Teaching)
創作過程論 (On Literary Creation), 表現伝達論 (On Literaty Communication)
- 研究分野 (Research Areas)
比較文学・比較文化 (Comparative Literature and Culture)
- 研究プロジェクト活動 (Proposal and Award Activity)
文字メディアとレトリック (Rhetoric and literary Media)
- 学内委員等 (University Service, Committees etc.)
福沢基金委員 (Member,Fukuzawa Fund)
- 学外での役員・委員等 (Professional Activities)
日本芸術院会員 (Member,Japan Art Academy), 日本文芸家協会理事長 (President,Japan Writers'Association), 日本比較文学会理事 (Director, Japan Comparative Literature Association), 国立劇場評議員 (Member, Board of Trustees of National Theatre),
- 著書・論文等 (List of Full Length Refereed Papers)
 1. 『漱石とその時代』 第三部 (新潮社)
 2. 『閉ざされた言語空間 — 占領軍の検閲と戦後日本』 (文春文庫)
 3. 『漱石とその時代』 第四部 『新潮』 1993年12月号～1996年6月号

- 氏名 (Name)
追川 修一 (OIKAWA, Shuichi)
- 担当科目 (Scholastic Activity:Teaching)
情報処理言語 I
- 研究分野 (Research Areas)
オペレーティングシステム, オブジェクト指向システム, モバイルコンピューティングシステム, マルチメディアシステム
- 研究プロジェクト活動 (Proposal and Award Activitiy)
 1. IPA 独創的情報技術育成事業「モバイルコンピューティングのための動的適応可能なソフトウェアアーキテクチャ」
 2. IPA 開放型基盤ソフトウェア研究開発評価事業「マルチメディア統合環境基盤ソフトウェア」
- 学内委員等 (University Service, Committees etc.)
ネットワーク委員
- 著書・論文等 (List of Full Length Refereed Papers)
 1. Shuichi Oikawa and Hideyuki Tokuda. RTC-Threads: A User-Level Real-Time Threads Package for Multimedia Systems. IEICE Transactions on Information and Systems (to be appeared).
 2. 追川 修一, 徳田 英幸: ユーザレベル実時間スレッドの高速化技法, 電子情報通信学会 和文論文誌 D-I (to be appeared).
- 学会・研究会発表等 (List of Conferences and Seminar Presentations)
 1. 追川 修一, 西尾 信彦, 徳田 英幸: M^3K : 拡張可能なマイクロカーネル, 情報処理学会第 50 回全国大会, 1995.
 2. 西尾信彦, 緒方正暢, 追川修一, 徳田英幸: モバイルコンピューティングのためのマイクロカーネルの改良, 情報処理学会第 50 回全国大会, 1995.
 3. 追川 修一, 徳田 英幸: 拡張可能なマイクロカーネル M^3K の設計, 日本ソフトウェア科学会オブジェクト指向コンピューティングワークショップ, 1995.
 4. Shuichi Oikawa and Hideyuki Tokuda. Efficient Timing Management for User-Level Real-Time Threads. IEEE Real-Time Technology and Applications Symposium, Chicago, 1995.

5. 追川 修一, 徳田 英幸: M^3K プロトタイプシステムの設計, 情報処理学会システムソフトウェアとオペレーティング・システム研究報告, 1995.
6. Shuichi Oikawa and Hideyuki Tokuda. System Support for Flexible Digital Video Players. International Symposium on Multimedia Systems, Yokohama, 1996.
7. Shuichi Oikawa and Hideyuki Tokuda. Guaranteeing the Execution of User-Level Real-Time Threads. The 6th International Workshop on Network and Operating Systems Support for Digital Audio and Video, Zushi, 1996.

- 氏名 (Name)
大岩 元 (OHIWA, Hajime)
- 担当科目 (Scholastic Activity:Teaching)
情報処理 Is Ib Ic IIc IIe, 情報分類検索論, 学習環境論
- 研究分野 (Research Areas)
情報教育, 認知工学, ソフトウェア工学
- 研究プロジェクト活動 (Research Project)
 1. Creative Workspace(CreW)
 2. Xanadu
- 学内委員等 (University Service, Committees etc.)
図書委員, CSOP 委員, 運営委員 (教育担当 1995/10-1996/3)
- 学外での役員・委員等 (Professional Activities)
文部省高等教育局「マルチメディアを活用した21世紀の高等教育の在り方に関する懇談会」委員, 日本私学振興財団「私立大学等の高度情報化に関する研究会」委員, 情報処理学会論文誌編集委員 (応用グループ主査), 情報処理学会「コンピュータと教育」研究会主査
- 著書・論文等 (List of Full Length Refereed Papers)
 1. 1995年11月 カード操作ツールKJエディタを用いた協調作業における指示操作に関する考察, 情報処理学会論文誌 vol.31 No.11 pp.2720-2727.
 2. 1996年1月 インターネット上の情報を利用できるカード操作ツール PAN-WWW 情報処理学会論文誌 vol.32 No.1 pp.154-162.
- 学会・研究会発表等 (List of Conferences and Seminar Presentations)
 1. 1995年6月 結果の保証できる教育システムの条件, 日本認知科学会第12回大会
 2. 1995年7月 計算機科学から見た技術者のための情報教育, 電子情報通信学会教育工学研究会
 3. 1996年5月 学生から見た情報教育, 情報処理学会「コンピュータと教育」研究会
 4. 1996年5月 高校における教科「情報」としてのプログラミング教育, 情報処理学会「コンピュータと教育」研究会

- 氏名 (Name)
岡田 隆彦 (OKADA, Takahiko)
- 担当科目 (Scholastic Activity:Teaching)
表現伝達論, 現代芸術, 記号・修辞論, 環境芸術論
- 研究分野 (Research Areas)
近代・現代美術, 近代・現代文学
- 学内委員等 (University Service, Committees etc.)
「三田評論」編集委員
- 学外での役員・委員等 (Professional Activities)
東京国立近代美術館作品選考委員, 東京都美術館作品選考委員, セゾン現代美術館理事
- 著書・論文等 (List of Full Length Refereed Papers)
 1. 「象徴とメタファーによる自己実現 – 詩人・北村透谷の場合」, 「記号学研究」15・「記号の力学」

- 氏名 (Name)
奥出 直人 (OKUDE, Naohito)
- 担当科目 (Scholastic Activity:Teaching)
比較メディア, 情報社会論, 生活史・誌
- 研究分野 (Research Areas)
メディア環境, アメリカ研究, 文化史
- 研究プロジェクト活動 (Proposal and Award Activity)
 1. コマースアレープロジェクト
 2. メディアリテラシーキャンプ (野村絵研)
 3. ピアチエーレプロジェクト
 4. 伊藤忠インターネット (株)
 5. NTT マルチメディア実験
 6. コクヨ (株) マルチメディアオフィス
 7. デジタルリサーチライブラリープロジェクト
- 学外での役員・委員等 (Professional Activities)
ヴァーチャルリアリティ学会ハイパービルディング研究会 (建設省), 配達総合情報システムに関する研究 (郵政省), マルチメディア企画委員会 (ハイビジョン普及支援センター), 情報新世界会議生活社会特別委員会 (社会経済生産性本部), モデル電子図書館プロジェクト推進委員会 (情報処理振興事業協会), 新都市建設推進協議会 (社会経済生産性本部), マルチメディアサービス調査委員会 (郵政省), 電子出版懇談会 (三和総合研究所) NICOGRAPH 企画委員会
- 著書・論文等 (List of Full Length Refereed Papers)
 1. 『本好きだからこそ、電子出版』, 本の窓,1995.1(共著)
 2. 『通信・コンピュータの融合/デジタル・コミュニケーション』, デジタル社会
 3. 『世界のインテリアデザイナー作品集』日本インテリアデザイナー協会編 1995.10
 4. 『ダイワアーク』(株) 大和銀総合研究所 1996.6
 5. 『UNIX USER 1996.3』 SOFTBANK
 6. 『better living no.153』(財) ベターリビング 1996.7
 7. 『Renta Station NO.39』横河レンタ・リース

8. 『建築雑誌 No.1390』日本建築学会 1996.6

● 学会・研究会発表等 (List of Conferences and Seminar Presentations)

1. システム科学研究所『インターネットのビジネス利用』
2. クレジット産業協会『海外の電子商取引の現状とクレジットビジネスの関わり』
3. 資生堂『メディア時代の組織とマネジメント』
4. 日本銀行『エレクトロニックコマースの一般的動向』
5. 富士銀行『電子商取引の現状と課題』
6. 名古屋市工業研究所『インターネットがもたらす情報新時代』
7. 吉田会計事務所『TKC企業防衛特別研修会』
8. 日立インフォメーションアカデミー『情報システムの新潮流と技術動向』
9. ComMunic "1st Europe@n internet Congress" "The Internet Business and its impact on the European market": "what's up" in other parts of the world?

- 氏名 (Name)
加藤 文俊 (KATO, Fumitoshi)
- 担当科目 (Scholastic Activity:Teaching)
情報処理 Ia
- 研究分野 (Research Areas)
コミュニケーション論, メディア環境論, 社会調査法
- 研究プロジェクト活動 (Proposal and Award Activity)
 1. 近代日本とアジアのデータベース (大学院政策・メディア研究科)
 2. 岐阜 in マルチメディア (岐阜ソフトピア)
 3. S F C 基本文献データベース
- 学内委員等 (University Service, Committees etc.)
AV 環境委員
- 学外での役員・委員等 (Professional Activities)
日本シミュレーション&ゲーミング学会第7回全国大会実行委員
- 著書・論文等 (List of Full Length Refereed Papers)
 1. 加藤文俊. (1995). 信長を見た風景：マルチメディアで織るあたらしい「歴史」. 第1回日本マルチメディア大賞懸賞論文（主催：JMF - 日本マルチメディアフォーラム）優秀賞受賞.
 2. 加藤文俊. (1995). ゲーミングにおけるディブリーフィング過程の記述・分析に関する研究. (第7回JASAG大会にて報告・慶應義塾大学湘南藤沢校舎). 発表論文抄録集, 43-46.
 3. 加藤文俊. (1995). 「故郷」としての「ホームページ」. マルチメディアを活用した21世紀の社会・懸賞論文（主催：株式会社富山総合情報センター）優秀賞受賞.
 4. Lederman, L. C. & Kato, F. (1995). Debriefing the debriefing process: A new look. In D. Crookall & K. Arai (Eds.). Simulation and gaming across disciplines and cultures (pp. 235-242). Thousand Oaks: Sage.
 5. 加藤文俊. (1996). 情報拠点としての大学：あたらしい知識の〈場〉. 『現代のエスプリ』第344号, 86-97. 至文堂.
 6. 加藤文俊 (共著). (出版予定). 「ゲーミング・シミュレーション」『シリーズ・社会科学のフロンティア』第8巻. 日科技連出版.

7. 加藤文俊（共著）. (出版予定). 「デジタルアンビエンス」『SFC人間環境ライブラリー』第9巻. 日科技連出版.

- 氏名 (Name)
金安 岩男 (KANEYASU, Iwao)
- 担当科目 (Scholastic Activity:Teaching)
学部: 空間と行動, 多変量データ処理法, フローデザイン論, 研究会(「都市・地域の研究」), 大学院:プロジェクト科目(「ローカルシステム」「インフォスケープ」)
- 研究分野 (Research Areas)
地域計画, 景観計画, 環境情報社会
- 研究プロジェクト活動 (Proposal and Award Activity)
 1. 「地域計画策定のための方法論の開発」(慶應義塾大学特別研究)
 2. 「環境設計教育」(慶應義塾大学大学院高度化研究助成)
 3. 「景観スタジオの開発」(新エネルギー・産業技術総合開発機構)
 4. 「マルチメディアのまちづくり」(建設省/民間都市開発推進機構)
 5. 「東アジアの自然環境が都市化に与える影響研究」(旭硝子財団)
 6. 「家庭・地域の情報化」(通産省/通信機械工業会)
 7. 「南京市国際技術交流都市構想」(南京市政府/日本工業技術振興協会)
 8. 「不動産業の21世紀ビジョン研究」(不動産協会)
 9. 「横須賀市の総合計画策定」(横須賀市)
- 学内委員等 (University Service, Committees etc.)
運営委員会委員, 学生部副部長(湘南藤沢支部長), スチューデントライフ委員会委員長, 教育奨励基金運営委員会委員, SFC周辺地区開発構想委員会委員, 環境情報研究所運営委員, その他委員
- 学外での役員・委員等 (Professional Activities)
横須賀市専門委員, 日本マルチメディアフォーラム客員, 民間都市開発推進機構新・都市環境産業研究会分科会座長, 通信機械工業会 家庭・地域社会情報化調査委員会委員長, 日本工業技術振興協会 南京市国際技術交流都市構想委員会副委員長,
- 著書・論文等 (List of Full Length Refereed Papers)
 1. 『サイエンスの近未来』(石井威望・有澤誠・金安岩男共著, 日科技連,1996年)
 2. 『知的キャンパスのプランニング』(高橋潤二郎・金安岩男・武山政直共著, 日科技連,1996年)

3. 「山形学遊学世界」上野嘉夫編集『知的に地域を楽しむ方法』「現代のエスプリ」334号, 至文堂,1996年
 4. 『家庭・地域社会における情報・通信システムの在り方』(編著, 通信機械工業会,1996年)
 5. 『地域の展開をめぐる考察』(共著, 大学院政策・メディア研究科ローカルシステム・中間報告書,1996年)
 6. 『時空間の構図－空間行動と地域展開－』(金安岩男・村上研二共著, 朝倉書店,1995年)
 7. 『時空を超えて－韓日都市比較研究－』(朱 鍾元・渡辺吉鎔・金安岩男共編, 慶應義塾大学湘南藤沢学会 1995年)
- 学会・研究会発表等 (List of Conferences and Seminar Presentations)
 1. 1996年度日本地理学会春季学術大会を3月27日～30日にかけて, 慶應義塾大学湘南藤沢キャンパスにて開催. 参加者は約830名.

- 氏名 (Name)
茅 陽一 (KAYA, Yoichi)
- 担当科目 (Scholastic Activity:Teaching)
システム論 (環境情報学部)
- 研究分野 (Research Areas)
エネルギー環境システム
- 研究プロジェクト活動 (Proposal and Award Activity)
 1. 太陽光発電の経済性評価
 2. 省エネルギーの可能性評価
 3. 温暖化対応策の政策科学的評価
- 学外での役員・委員等 (Professional Activities)
産業構造審議会地球環境部会長, 総合エネルギー調査会需給部会長, 産業技術審議会基本政策検討会委員長, 中央環境審議会委員, 環境管理監査規格審議委員会委員長, エネルギー資源学会副会長, 国際システム解析研究所 (IIASA) 理事, 科学技術庁参与, 名古屋大学客員教授, 京都大学客員教授, 東京電力株式会社顧問, (株) 住環境計画研究所特別顧問, 新技術事業団戦略的基礎研究研究総括など
- 著書・論文等 (List of Full Length Refereed Papers)
 1. The role of CO2 removal and disposal, Energy Conversion Management, vol. 36 nos.6-9, Elsevier Science LTd., 1995
 2. Japan's strategy in technology development for mitigating global warming, Energy Conversion Management, vol.37, nos.6-8, Elsevier Science LTd. 1996
 3. Influence of photovoltaic generation in load frequency control, IEEE Trans.on Energy Conversion, vol.11, no.1, 1996
 4. 運輸エネルギーと最適都市構造, 電気学会論文誌 B, vol.116, no.6, 1995
 5. 運輸省エネルギー型都市へのモデルアプローチ, エネルギー・資源, vol.16, no.6, 1995
 6. エネルギー技術の新パラダイム, オーム社, 1995
 7. 地球時代の電気エネルギー, 日経サイエンス, 1995
- 表彰等 (Honors, Awards, and Special Recognition Received)
 1. 電気学会功績賞 (1995/5)

2. 東京都科学技術功労者表彰 (1995/10)
3. 電気学会出版賞 (1996/5)

- 氏名 (Name)
清木 康 (KIYOKI, Yasushi)
- 担当科目 (Scholastic Activity:Teaching)
知識ベース論
- 研究分野 (Research Areas)
分散型データベースシステム, マルチメディア・データベースシステム
- 研究プロジェクト活動 (Proposal and Award Activity)
文部省科学研究費一般研究 C: 関数型計算モデルに基づく並列型データベース・システムの研究
- 学外での役員・委員等 (Professional Activities)
情報処理学会論文誌編集委員会委員, 情報処理学会システムソフトウェアとオペレーティングシステム研究会幹事, 電子情報通信学会データ工学研究会専門委員, International Conference on Very Large Data Bases プログラム委員, European-Japanese Seminar on Information Modelling and Knowledge Bases プログラム委員, Multimedia Japan'96 プログラム委員, 情報処理学会コンピュータシステム・シンポジウム プログラム委員
- 著書・論文等 (List of Full Length Refereed Papers)
 1. Y. Kiyoki and T. Kitagawa, "A semantic associative search method for knowledge acquisition," Information Modelling and Knowledge Bases (IOS Press), Vol. VI, pp.121-130, May 1995.
 2. T. Shimizu, O. Nakamura and Y. Kiyoki, "Multimedia document system for temporal and spatial structuring," Proceedings of International Workshop on Hypermedia Design, pp.43-62, June 1995.
 3. 村岡正則, 佐藤 聡, 清木 康, "ストリーム指向型並列データベース処理を対象とした分散メモリ資源割り当て方式," 情報処理学会論文誌, Vol. 36, No. 12, pp. 2831-2843, Dec. 1995.
 4. A. Sato, M. Hiroki and Y. Kiyoki, "A stream-oriented parallel processing system for continuous media integration," Proceedings of the IASTED (International Association of Science and Technology for Development) Conference on Applied Informatics, IASTED, pp.123-129, Feb. 1996.
 5. X. Chen and Y. Kiyoki, "A new memory allocation algorithm for distributed and stream-oriented query processing," Proceedings of the IASTED (International Association of Science and Technology for Development) Conference on Applied Informatics, IASTED, pp.168-173, Feb. 1996.

6. X. Chen and Y. Kiyoki, "Optimal memory resource allocation for stream-oriented database processing applied to continuous media manipulation," Proceedings of the IASTED (International Association of Science and Technology for Development) Conference on Applied Informatics, IASTED, pp.232-237, Feb. 1996.
7. T. Hayama and Y. Kiyoki, "A distributed process coordinator for rendering multimedia resources in a multimedia system," Proceedings of Multimedia Japan '96, pp.168-175, March 1996.
8. 清木 康, 金子 昌史, 北川 高嗣, "意味の数学モデルによる画像データベース探索方式とその学習機構," 電子情報通信学会論文誌, D-II, Vol.J79-D-II, No.4, pp. 509-519, Apr. 1996.

● 学会・研究会発表等 (List of Conferences and Seminar Presentations)

1. 佐藤 聡, 広木正秀, 清木 康, "ストリーム指向型並列処理によるマルチメディア・データの統合方式," Proc. 1995 Joint Symposium on Parallel Processing, pp. 137-144, May 1995.
2. 端山 貴也, 清木 康, "マルチメディア処理を行うプロセス群のための同期支援システム," 情報処理学会コンピュータシステム・シンポジウム論文集, Nov. 1995.
3. 清木 康, 北川 高嗣, 宮原 隆行, 倉田 佳世子, "意味の数学モデルによる意味的連想処理方式と学習機構" 電子情報通信学会, 信学技報 DE95-8, pp.57-64, May 1995.
4. 中村 恭子, 金子 昌史, 清木 康, 北川 高嗣, "意味の数学モデルによる意味的画像探索方式とその学習機構" 情報処理学会データベースシステム研究会 104-16, pp.121-128, July 1995.

- 氏名 (Name)
楠本 博之 (KUSUMOTO, Hiroyuki)
- 担当科目 (Scholastic Activity:Teaching)
情報処理 I, 情報処理 II, 通信情報理論, 計算機能論
- 研究分野 (Research Areas)
コンピュータネットワーク (Computer Network)
- 学内委員等 (University Service, Committees etc.)
ネットワークシステム委員会, データベースシステム委員会, ラップトップ委員会
- 学会・研究会発表等 (List of Conferences and Seminar Presentations)
 1. 衛星通信を利用した放送型ネットワークに関する研究
(情報処理学会システムソフトウェアとオペレーティング・システム研究会, 1995年6月)
 2. WISH ネットワークにおける動的トポロジの制御システムの構築
(情報処理学会マルチメディア通信と分散処理研究会, 1995年7月)
- 解説・評論 (Survey Papers and Critiques)
 1. インターネットにおけるマルチキャスト通信 (bit 別冊, インターネット参加の手引, 1995年8月)

- 氏名 (Name)
久保 幸夫 (KUBO, Sachio)
- 担当科目 (Scholastic Activity:Teaching)
画像解析論, 環境情報システム論, 研究会, 概念構築 (大学院), プロジェクト「GIS 応用分野の開発」(大学院)
- 研究分野 (Research Areas)
地理情報システム (GIS) の技術開発と利用, 地球測位システム (GPS) の利用技術, 環境計測技術
- 研究プロジェクト活動 (Proposal and Award Activity)
 1. 地名データベースの作成 (文部省科学研究費「地名データベース」)
 2. 都市化に伴う熱環境変化の分析 (文部省科学研究費一般 (B))
 3. SFC コンソーシアム「GIS-GPS LINK」
 4. アンコール遺跡の調査 (塾大型研究費助成, JICE)
 5. 海外調査: アンコール遺跡 (1995 年 9 月)
- 学外での役員・委員等 (Professional Activities)
国際地理学連合 (IGU)「地理情報システム委員会」委員長, 日本学術会議地理学研究連絡会議委員, 日本学術会議 HDP 小委員会委員, 日本地理学会「地理情報システム研究グループ」主査, 地理情報システム学会理事, 都市計画学会論文委員会委員, 日本コンピュータグラフィックス協会企画委員, 日本 Arc/Info ユーザーズグループ代表
- 著書・論文等 (List of Full Length Refereed Papers)
 1. 著書: 1996『新しい地理情報技術』, 168 ページ.
 2. 論文: 近代化に伴う上海市都市化の進展, 地学雑誌, Vol.104, No.4(940), 1995
- 学会・研究会発表等 (List of Conferences and Seminar Presentations)
 1. 主催した会議: 日本地理学会春季大会

- 氏名 (Name)
熊坂 賢次 (KUMASAKA, Kenji)
- 担当科目 (Scholastic Activity:Teaching)
現代と社会システム, 行動と社会関係, 社会環境論, プロジェクト
- 研究分野 (Research Areas)
現代社会論, ライフスタイル論
- 研究プロジェクト活動 (Proposal and Award Activity)
 1. 21世紀の不動産業のビジョン (委託研究)
 2. デジタル環境とコラボレーション (委託研究)
- 学内委員等 (University Service, Committees etc.)
運営委員, 学習指導委員, 新カリキュラム委員
- 学外での役員・委員等 (Professional Activities)
湘南ブランド商品開発会議座長
- 著書・論文等 (List of Full Length Refereed Papers)
 1. マルチメディア時代の企業組織形態とオフィス環境「ISDN 仕事革命」96.5
(メディア出版)
 2. ネットワーク社会と不動産業のビジョン 「住宅土地経済」NO21,9 6.6
(日本住宅総合センター)

- 氏名 (Name)
斎藤 信男 (SAITO, Nobuo)
- 担当科目 (Scholastic Activity:Teaching)
環境情報システム論, 情報処理系論, 情報処理 I
- 研究分野 (Research Areas)
計算機科学, 特にオペレーティングシステム, 並列/分散処理, プログラム理論, ソフトウェア工学, 文書処理など
- 研究プロジェクト活動 (Proposal and Award Activity)
 1. SFC 研究コンソーシアム (オープンメディア研究プロジェクト, マルチメディア教育ネットワークシステム)
 2. 開放型基盤ソフトウェア研究開発評価事業プロジェクト
- 学内委員等 (University Service, Committee etc.)
SFC 運営委員会委員, 大学評議会委員, 湘南藤沢メディアセンター所長, メディアセンター協議会委員, 環境情報研究所運営会議委員, ネットワークシステム委員会委員長, CDP 委員会委員, 人工言語カリキュラム小委員会委員, ラップトップ小委員会委員長, 施設・設備拡充小委員会委員長, 環境情報学部長
- 学外での役員・委員等 (Professional Activities)
情報処理学会, 電子情報通信学会, 計測自動制御学会, 日本ソフトウェア科学会, ACM, IEEE Computer Society, TUG (TeX Users Group), 日本 UNIX ユーザ会, 情報規格調査会 POSIX WG 主査, 同 C++ WG 委員, POSIX JIS WG 主査, PDC コンソーシアム (並列分散研究コンソーシアム) カテゴリ 2 委員長
- 著書・論文等 (List of Full Length Refereed Paper)
 1. "The Massively Parallel Processing System JUMP-1", IOS Press, Ohmsha Ltd. ,1996
- 解説・評論 (Survey Papers and Critiques)
 1. 「マルチメディアの現状と将来、その可能性」, 計測自動制御学会, Vol.35, No.1, 1996.1.

- 氏名 (Name)
佐々木 三男 (SASAKI, Mitsuo)
- 担当科目 (Scholastic Activity:Teaching)
体育 (Physical education)
- 研究分野 (Research Areas)
体育方法学 (Methods of pyhsical education), スポーツ心理学 (Sport psychology)
- 学内委員等 (University Service, Committees etc.)
湘南藤沢学会幹事, 教材・教授法開発委員会, 施設・環境委員会, SFC 体育施設運営委員会, 慶応義塾体育会副理事
- 学外での役員・委員等 (Professional Activities)
日本学生バスケットボール連盟理事 (女子選手強化副部長), 関東女子学生バスケットボール連盟副理事長 (強化部長), 1995 年ユニバーシアード夏季大会日本代表チーム・アシスタントコーチ, 1995 年日韓交流試合日本代表チームコーチ, 1995 年東西対抗学生オールスター東軍監督
- 学会・研究会発表等 (List of Conferences and Seminar Presentations)
 1. バスケットボールプレーヤーの視線研究 - 熟練者の 3 対 2 においてミドル・マンのパスについて - 「日本体育学会 第 46 回大会発表」
- 解説・評論 (Survey Papers and Critiques)
 1. 1995 ユニバーシアード夏季大会 (福岡大会) 女子バスケットボール報告書 (日本オリンピック委員会)
- 表彰等 (Honors, Awards, and Special Recognition Received)
ユニバーシアード大会 3 位

- 氏名 (Name)
澁川 雅俊 (SHIBUKAWA, Masatoshi)
- 担当科目 (Scholastic Activity:Teaching)
資料検索法 [96 年春], 情報分類検索論 [96 年秋], 研究会 (情報資源の形成) [96 年春], 研究会 (生涯学習の情報ロジスティクス) [96 年春], 大学院プロジェクト (データベース環境とコースウェア)
- 研究分野 (Research Areas)
電子図書館, 高度情報環境化の個人情報利用
- 研究プロジェクト活動 (Proposal and Award Activity)
 1. 「グループウェア実用研究：図書館・情報専門技能の蓄積と共有」－学問体系に基づく経験と熟練 (勘, 骨, 塩梅, 連想…) が任務の成否を決定する同一専門職集団の構成員間に, 距離や地域差, 時差などのギャップを克服しつつ, それらを情報として共有するグループウェアの実用的研究
 2. 「Humanities Media Interface Project」(共同研究)－ゲーテンベルグ『四十二行聖書』(1445 年頃刊) ほかインキュナブラ (西洋古刊本) の物性分析・画像解析, ならびに画像情報データの伝送ハイパーメディア技術の研究・開発
- 学内委員等 (University Service, Committees etc.)
新聞研究所運営委員, 慶應義塾大学文学部講師 (図書館・情報学科) (兼任)
- 学外での役員・委員等 (Professional Activities)
学術情報センター総合目録委員会委員, 日本私立大学連盟専門研修運営委員会委員, 財団法人国際医学情報センター評議員, 三田図書館・情報学会監事, カルチュア・ジャパン (株)「カルチュア・イベント」委員会委員, ゲスナー委員会 (株式会社雄松堂書店) 委員, 愛知淑徳大学図書館・情報学科講師 (非常勤), 青山学院大学教育学科講師 (非常勤)
- 著書・論文等 (List of Full Length Refereed Papers)
 1. 「選書から蔵書構築、そしてコレクションマネジメントへー資料提供準備の終わりなき課業」(私立大学図書館協会会報 104 号 p.57-66,1995. 6)
 2. 「稀覯本とマルチメディア (上) (下)」(学燈 vol. 93 no.2-3 1996.2,p-16-19,1996.3,p.30-33)
- 学会・研究会発表等 (List of Conferences and Seminar Presentations)
 1. 「開放・進化型大学と [図書館] 利用教育」(第 9 回 21 世紀への大学図書館国際シンポジウム 京都外国語大学,1996.3.6-7)

● 解説・評論 (Survey Papers and Critiques)

1. 「慶應義塾大学の今後の高度情報化政策について」(私情協ジャーナル vol.3 no.4 Spring 1995,p.2-4)
2. 「私立大学図書館協会国際協力事業について」(NHK 国際放送コラム 1995. 4.28 放送)
3. 「図書館とコンピュータ」(西日本文化 318 号 1996.1p.31-33)
4. 「情報資源化する慶應義塾写真」(三田評論 977 号平成 8 年 2 月 p.108-111)
5. 「ラドクリフ図書館 (オックスフォード大学) の設計図」(MEIDANET no.3,1995, 表 2)

- 氏名 (Name)
新海 俊一 (SHINKAI, Shunichi)
- 担当科目 (Scholastic Activity:Teaching)
情報処理 I
- 研究分野 (Research Areas)
建築設計, 都市解析, 建築史
- 学内委員等 (University Service, Committees etc.)
マルチメディア委員会委員
- 学外での役員・委員等 (Professional Activities)
みなとみらい 21(MM21) 事業報告編集委員
- 著書・論文等 (List of Full Length Refereed Papers)
 1. 建築デザインプロセスにおけるデジタルメディアの現状, レモン画翠 CAAD 教育の現場展プログラム,95.6
- 学会・研究会発表等 (List of Conferences and Seminar Presentations)
 1. 都市の空間構造に関する研究 3, 時間帯別旅客流動量最大経路, 日本建築学会,95.9

- 氏名 (Name)
鈴木 広隆 (SUZUKI, Hirotaka)
- 担当科目 (Scholastic Activity:Teaching)
情報処理 I
- 研究分野 (Research Areas)
建築環境工学, 建築情報工学
- 研究プロジェクト活動 (Proposal and Award Activity)
 1. 自律・分散・協調型 ”景観スタジオの開発”
 2. アジア大都市研究プロジェクト
 3. SFC 環境デザイン教育
 4. 基本文献データベースプロジェクト
- 学外での役員・委員等 (Professional Activities)
建築学会光環境委員会視環境情報 WG 委員
- 著書・論文等 (List of Full Length Refereed Papers)
 1. H.Suzuki, K.Hirate, M.Yasuoka, ”Introduction of Discretely Directional Luminous Vector and Its Application”, High Performance Computing '95,pp.435-439,1995
- 学会・研究会発表等 (List of Conferences and Seminar Presentations)
 1. 鈴木広隆, 平手小太郎, 安岡正人, ”光の流れに関する研究 -離散指向光束ベクトルの提案-”, 照明学会全国大会講演論文集,pp.156-157,1995 年
 2. ”光環境数値計算における要素分割の妥当性の検討 その 1 要素に依存する誤差の評価”, 日本建築学会大会学術講演梗概集 D,pp.391-392,1995 年

- 氏名 (Name)
高橋 潤二郎 (TAKAHASHI, Junjiro)
- 担当科目 (Scholastic Activity:Teaching)
立地・空間分析
- 研究分野 (Research Areas)
都市システム・地域開発, 特に情報社会における都市の空間構造に関する研究,
アーバンゲーミングシミュレーションに関する研究
- 学内委員等 (University Service, Committees etc.)
常任理事
- 学外での役員・委員等 (Professional Activities)
文部省学術情報センター評議員 (H5. 9.~), 私立大学等の高度情報化に関する
研究会委員 (H 7.12~), 私立大学高度情報化対策会議委員 (H8.1~), 横浜市リ
サーチパーク検討委員会委員 (H8.6~), (学会): 日本地域学会 理事 (S41, 11
~), 日本不動産学会 顧問 (H4.5~), 日本ハビタット学会 理事 (H7. 12~)
- 著書・論文等 (List of Full Length Refereed Papers)
 1. RELEARNING EDUCATION 平 7 (1995) 9.,LOOK JAPAN 「 FUTURE
INDUSTRY 」 VOL.41, No.474
 2. 情報化と大学の変貌 平 7(1995).10.1, (社) 日本私立大学連盟, 「ネットワー
ク時代の学術情報支援」
 3. 東京・変遷過程にある世界都市, 平 8(1996).2.25,NIRA 政策研究, VOL.9,No.2,
世界都市と日本の都市政策
 4. 知的キャンパスのプランニング - 慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス (S F
C) の実践 - 平 8(1996).2. 日科技連出版会
- 学会・研究会発表等 (List of Conferences and Seminar Presentations)
 1. 東京: 転換期の世界都市, プレハビタット II 東京会議 『世界都市と都市の未
来』, 国連大学・日本ハビタット学会・総合研究開発機構主催 (H7. 8.23~
25)
 2. 「都市と活力」 - まちづくりの新しい地平を求めて -, 第 57 回全国都市問題
会議 全国市長会・東京市政調査会・他主催 (H7. 10. 18~19)

- 氏名 (Name)
武藤 佳恭 (TAKEFUJI, Yoshiyasu)
- 担当科目 (Scholastic Activity:Teaching)
Information Science, Artificial Learning, Conceptual Construct-3
- 研究分野 (Research Areas)
Neural Computing, Internet and Multimedia Databases
- 研究プロジェクト活動 (Proposal and Award Activity)
Neural Computing for intelligent image processing (IPA of MITI)
- 学内委員等 (University Service, Committees etc.)
Public relations, CDP, Database
- 学外での役員・委員等 (Professional Activities)
External accessor for governments on neural computing, associate editor of Int. J. of Multimedia Tools and Applications, associate editor of New Generation Computing, SCALS executive committee member of MITI, Chair of SCALS security WG of MITI, Yomiuri Newspaper Columnist
- 著書・論文等 (List of Full Length Refereed Papers and Books)
 1. A neural network algorithm for the no-three-in-line problem, Neurocomputing, vol.8, no.1, p. 43-9, 1995
 2. A balloon net discovering improved solutions in one of unsolved problems in geometry: a problem of spreading points in a unit square, 1995 IEEE International Conference on Neural Networks Proceedings (Cat. No.95CH35828), p. 6 vol. 1+3219, 2208-10
 3. A neural network approach to facility layout problems, European Journal of Operational Research, vol.89, no.3, p. 556-63, 1996
 4. Neural network parallel computing for multi-layer channel routing problems, Neurocomputing, vol.8, no.2, p. 141-56, 1995
 5. Scaling properties of neural networks for job-shop scheduling, Neurocomputing, vol.8, no.1, p. 79-91, 1995
 6. A Functional-link Net Algorithm for Pattern Recognition Problems of Super Secondary Structures in Protein Sequence, Proc. of Adaptive Distributed Parallel Computing, August 8-9, 1996

7. A New Self-Organization Classification Algorithm for Remote-Sensing Data, Proc. of Adaptive Distributed Parallel Computing, August 8-9, 1996
 8. Neural computing for solving intractable problems, Journal of EIC, 1996
 9. Neural computing from Corona-sha in 1996
 10. Neural Networks from Sangyo-tosho in 1996
 11. Neural computing for optimization and combinatorics from World Scientific Publishers in 1996
 12. CALS:industry revolution from JustSystem in 1995
 13. Netiquette in the cyber-society from Kyoritsu-shuppan in 1996
 14. CALS for making enterprises profitable, Mechanical Automation, vol. 28, no. 1, 15-18, 1996
 15. What are required for Japanese infrastructures?, Diamond Harvard Business, 10-12, Aug-Sep. 1995
 16. What are required for Japanese infrastructures?, Information Literacy for profitable enterprises from Diamond in 1995, 17-25
- 学会・研究会発表等 (List of Conferences and Seminar Presentations)
 1. CALS at Chemical Society in Japan
 2. CALS at DongSeo Univ. in Korea
 3. CALS and Neural computing at AI society
 4. Neural computing at Oxford Computing Lab.
 5. CALS and Neural computing in Argentina
 - 表彰等 (Honors, Awards, and Special Recognition Received)

Takayanagi Research Award, TEPCO Research Award, KAST Research Award

- 氏名 (Name)
武山 政直 (TAKEYAMA, Masanao)
- 担当科目 (Scholastic Activity:Teaching)
情報処理 Ia, メディア環境基盤論 (アシスタント)
- 研究分野 (Research Areas)
メディア空間論, メディア学習論, システム論
- 研究プロジェクト活動 (Proposal and Award Activity)
 1. メディア地理学の方法論 (ソフトピアジャパン)
 2. ネットワーク型学習コミュニティの構築 (ベネッセコーポレーション)
 3. マルチメディア家族キャンプ (国立オリンピックセンター)
 4. Geo-Algebra: A Mathematical Framework Integrating Geographic Information Analyses.
- 学外での役員・委員等 (Professional Activities)
Association for American Geographers, 日本地理学会, 国際情場学会
- 著書・論文等 (List of Full Length Refereed Papers)
 1. Geo-Algebra. Doctoral dissertation. Department of Geography, University of California at Santa Barbara. 1996
 2. Spatial Analysis of Artificial World. Proceedings, Artificial Life V. 1996
 3. 知的キャンパスのプランニング (高橋, 金安, 武山) 日科技連 1996
- 学会・研究会発表 (LIST of Conference and Seminar Presentations)
 1. Shinjoh and Takeyama (1996) Locational Modeling with Structurally Dynamic Cellular Automata. European Conference on Artificial Life.

- 氏名 (Name)
千代倉 弘明 (CHIYOKURA, Hiroaki)
- 担当科目 (Scholastic Activity:Teaching)
情報処理言語 II グラフィックスコース, デザイン支援論, 情報環境設計論, 創造メディア論 (大学院)
- 研究分野 (Research Areas)
C A D (Computer Aided Design) , 医学への C G 応用
- 学内委員等 (University Service, Committees etc.)
湘南藤沢学会委員, 学習指導委員
- 学外での役員・委員等 (Professional Activities)
EUROGRAPHICS:Technical Committee, CG International:Technical Committee, Pacific Graphics:Technical Committee, ニコグラフ:論文委員
- 著書・論文等 (List of Full Length Refereed Papers)
著書:

1. 石川直太, 前田雅子, 千代倉弘明, 幾何公園, 産業図書,1995.

論文:

1. 梅原 智之, 松田 達樹, 千代倉 弘明, 小林 正弘, 3D をベースとした人体教育ソフトウェア, 日本コンピュータ支援外科学会会誌, 第三巻二号, pp.112~117 日本コンピュータ支援外科学会,1995.
2. 松田, 梅原, 千代倉弘明, 人体のウォークスルー, 外科手術シュミレーション, Vol.35, No.6, pp.1211-1221, 1995.
3. 三浦, 曾根, 千代倉, Gregory 型パッチの NURBS 曲面への近似変換, 情報処理学会論文誌, Vol.36, No.4, pp.892-901, 1995.
4. K.T. Miura, J. Sone, and H. Chiyokura, An Approximate Conversion Method from Gregory-type Patches to NURBS Surfaces, in Shin, S.Y. and Kunii, T.L.(ed.), Computer Graphics and Applications, pp.279-293, World Scientific, 1995.
5. Takanori Hara, Junji Sone, Hiroaki Chiyokura, Interactive 3D Modeling System with Range Data, in Tat Seng Chua, Hung Keng Pung and Tosiyasu L Kunii(ed.), Multimedia Modeling pp.349-361, World Scientific, 1995.

6. T. Matsuda, T. Umehara, H. Chiyokura, and M. Kobayashi, 3D-Based Textbook for Human Body Education, in H. U. Lemke, K. Inamura, C. C. Jaffe, and M. W. Vannier(eds.), Computer Assisted Radiology, pp.812-817, Springer, 1995.
 7. T. Umehara, T. Matsuda, H. Chiyokura, and M. Kobayashi, Human Body Textbook with Three-Dimensional Illustrations, in S. J. Weghorst, H. B. Sieburg, and K. S. Morgan(eds.), Health Care in the Information Age, pp.694-702, IOS Press/Ohmsha, 1996.
 8. 渡辺大地, 早野勝之, 千代倉弘明, 柔軟な形状制御機能を持った Cyber World Toolkit, 第 11 回 NICOGRAPH 論文コンテスト論文集, pp.59-67, 1995.
 9. T. Watanabe, K. Kitagawa, Y. Yamanoue and H. Chiyokura, Toolkit for Making 3D Cyber World, IEEE Workshop on Networked Realities, 1995.
 10. T. Konno, H. Mitani, H. Chiyokura, and I. Tanaka, Surgical Simulation of Facial Paralysis, in S. J. Weghorst, H. B. Sieburg, and K. S. Morgan(eds.), Health Care in the Information Age, pp.488-497, IOS Press/Ohmsha, 1996.
- 解説・評論 (Survey Papers and Critiques)
 1. 解説: 松田 達樹, 梅原 智之, 渡辺 大地, 三谷 ひかる, 千代倉 弘明, 3次元CGを人体の教育ソフトに応用, 日経CG, No.112, pp.107-113, 日経BP社, 1996.
 - 表彰等 (Honors, Awards, and Special Recognition Received)
 1. 日経サイエンス賞
 2. ニコグラフ論文賞
 3. 義塾賞

- 氏名 (Name)
塚越 功 (TSUKAGOSHI, Isao)
- 担当科目 (Scholastic Activity:Teaching)
〔政策メディア研究科〕：生活環境設計論, 生活環境創造論, 研究プロジェクト：エコシティーの支援技術, 〔環境情報学部〕：都市と環境 2
- 研究分野 (Research Areas)
都市・建築・防災
- 研究プロジェクト活動 (Proposal and Award Activity)
 1. 阪神淡路震災調査
 - 95.1.27-29 東京消防庁火災予防審議会現地調査
 - 95.3.3-5 日本建築学会防火委員会, 防災設備の被災状況調査
 - 95.3.17-18 建設省建築震災調査委員会現地調査
 - 95.3- 日本火災学会兵庫県南部地震災害調査委員会
 2. 講演会・討論会
 - 95.2 神奈川県都市防災講演会講演「地震火災の危険性について」
 - 95.4.22 ミサワホーム耐震住宅セミナー講演「地震のメカニズムと震災事例に学ぶ」
 - 95.5.25 日本火災学会討論会「地震と火災」司会, 神戸市
 - 95.5.26 自治省消防庁「地震防災対策シンポジウム」パネラー, 「阪神淡路大震災の特徴的現象と今後の課題」
 - 95.5.29 経団連フロンティアフォーラム講演「都市防災と国づくり」
 - 95.8.19 日本建築学会研究協議会「神戸南部地震時の火災被害から何を学か」まとめ役, 札幌市
 - 95.9.7 AEC SYSTEM 特別セミナー「都市防災に威力を発揮するコンピュータ」
 - 96.1.18-19「阪神淡路大震災1周年記念 Memorial Conference in Kobe」第5分科会”わが家の安全”座長, 神戸市
 - 96.3.7-8 The First Inter University Seminar on Asian Megacities, at SFC Keio
 3. 学外団体研究助成研究
 - (1) 旭硝子財団助成研究「東アジア地域における大都市形成に関わる自然環境条件の影響に関する研究」95-96年度
 - (2) 鹿島財団助成研究「東アジア大都市における居住環境の比較に関する研究」96-97年度

(3) 日本建築センター助成研究「木造3階建て共同住宅の市街地火災に対する安全性に関する研究」96年度

- 学内委員等 (University Service, Committees etc.)
大学院 WG 委員, CDP 委員, 施設委員会委員, SL 委員会委員
- 学外での役員・委員等 (Professional Activities)
地域安全学会理事, 日本建築学会防火委員会および論文集委員会委員, 木造建築研究フォーラム理事, 日本火災学会理事および兵庫県南部地震災害調査委員会委員長, 東京消防庁火災予防審議会委員および震災時の消防活動障害要因に関する調査委員会委員長, 自治省消防庁地震防災対策検討会委員, 建設省建築震災調査委員会委員, 日本建築センター地域隣棟防火規定の合理化に関する調査委員会木造3階建て共同住宅の防火安全性検討都市部会長, 国土開発センター都市防火区画形成手法研究会委員長, エンジニアリング振興協会ジオアミューズメントセンターに関する調査研究委員会委員長
- 学会・研究会発表等 (List of Conferences and Seminar Presentations)
 1. 「日本の木造建築と災害対策」SFC 日韓研究交流セミナー, 95.1
 2. “Disaster Reduction as a Fundamental Policy for Urban Planning and Building Control—Experiences of City Fires in Japan” The First Inter University Seminar on Asian Megacities, at SFC Keio, 96.3.7-8
 3. 「建築物の市街防火基準について」日本火災学会研究発表会特別講演資料, 96.5.23
 4. 「都市防災から見た阪神大震災の特徴」中華民国建築学会, “日本阪神大地震災害検討会” 台北市, 95.7.25
 5. 「市街地火災に関する法規制と建築防火設計法について」日本建築学会 96年研究発表梗概集, 96.7 刊行予定
 6. 「都市計画防火対策について」日本建築学会 96年研究協議会資料, 96.9 刊行予定
- 解説・評論 (Survey Papers and Critiques)
 1. 「災害に関する感情と理性」三田評論, 95.5
 2. 「北海道南西沖地震復興過程に関する調査研究」(財)都市防災美化協会(地域安全学会における共同調査研究, 5. 奥尻町の水産業・観光業の復興についてを担当) 95.7
 3. 「首都圏地震防災の問題点」東京新聞フォーラム, 95.10.03
 4. 「全く無害な読書」日本建築学会 “建築雑誌” 96.2

5. 「阪神淡路大震災の特徴と建築物の市街地防火基準」都市防災美化協会, ”地震災害の教訓” 96.8 刊行予定
6. 「SFC の環境デザイン教育に向けて」共著, 3.1 建築デザイン, 4.3 学部と大学院の役割分担を担当, 刊行予定
7. 日本火災学会「火災便覧」共著, ”8.1 広域火災の特徴” 担当, 刊行予定

- 氏名 (Name)
徳田 英幸 (TOKUDA, Hideyuki)
- 担当科目 (Scholastic Activity:Teaching)
情報処理 Is, 情報処理 IIs, 通信・情報理論, 自律分散協調論, メディア構成論
- 研究分野 (Research Areas)
計算機科学, 分散・並列システム, オペレーティングシステム, コンピュータネットワーク, モービルコンピューティング
- 研究プロジェクト活動 (Proposal and Award Activity)
 1. マルチメディア統合環境基盤ソフトウェア研究開発プロジェクト
 2. 独創的情報処理技術育成事業研究開発プロジェクト
 3. 文部省科研重点領域: 超並列計算機構の研究開発
 4. 文部省科研:マルチメディア処理のためのオペレーティングシステムの研究開発
 5. SFC コンソーシアム: オープンメディアプロジェクト
- 学内委員等 (University Service, Committees etc.)
SFC 運営委員会委員, メディアセンター副所長, ネットワーク委員会委員長, Laptop 委員会委員長, CATV 委員会委員長, KIEP 実行委員
- 学外での役員・委員等 (Professional Activities)
日本ソフトウェア科学会理事, 情報処理学会 CS 領域委員, 情報処理学会 システムソフトウェアとオペレーティングシステム研究会主査, 情報科学国際交流財団選考委員会委員, 情報処理学会 Multimedia Japan 96 プログラム委員長, NOSSDAV 96 (International Symp. on Network and Operating System, RTCSA'96 (Second International Workshop on Real-Time Computing, Systems and Applications) 大会委員長, 1997 IEEE Real-time Applications and Technology Symposium プログラム委員, The 5th IFIP International Workshop on Quality of Service (IWQoS'97) プログラム委員, WISS '96 (Workshop on Interactive Systems and Software) プログラム委員, Joint Symposium on Parallel Processing 1996 (JSPP '96) プログラム委員, 情報処理振興事業協会 (IPA) 技術動向委員会委員, 情報処理振興事業協会 (IPA) 開放型基盤技術開発評価事業開発推進委員会委員, 情報処理振興事業協会 (IPA) 独創的情報処理技術育成事業審査委員会委員
- 著書・論文等 (List of Full Length Refereed Papers)

1. K. Kawachiya, M. Ogata, N. Nishio, H. Tokuda, "Evaluation of QOS-Control Servers on Real-Time Mach", Proc. of the 5th Int. Workshop on Network and Operating Systems Support for Digital Audio and Video, April 1995.
2. 河内谷, 緒方, 西尾, 徳田: "連続メディアのQOS制御のための「QOSチケット」モデル," 第50回情処全大論文集 (1N-6), pp. 3-153-3-154, 1995.
3. 堀切, 多田, 河内谷, 西尾, 徳田, 斎藤: "分散マルチメディア環境のためのセキュリティ機構", 第50回情処全大論文集 (1N-7), pp. 3-155-3-156, 1995.
4. S. Oikawa and H. Tokuda: "Efficient Timing Management for User-Level Real-Time Threads," Proceedings of the Real-Time Technology and Applications Symposium, pp.27-32, 1995.
5. K. Kawachiya, M. Ogata, N. Nishio, and H. Tokuda: "QOS Control of Continuous Media: Architecture and System Support," IBM Research Report, RT0108, IBM, 1995.
6. 西尾, 徳田: "連続メディア処理のためのミドルウェアの性能評価", 情報処理学会システムソフトウェアとオペレーティングシステム研究報告 No. 69-8), pp.55-60, 1995.
7. 望月, 富田, 川又, 石川, 徳田: "Keio Media Space Board と Keio Media Space Navigator 上のプロトタイプサーバの実装と評価", 情処研報, Vol.95, No.59, 95-OS-69, 1995.
8. 徳田, 石川, 望月, 富田, 川又: "Keio Media Space Family プロジェクトにおけるシステムアーキテクチャ", 情処研報, Vol.95, No.59, 95-OS-69, 1995.
9. K. Kawachiya, M. Ogata, N. Nishio, and H. Tokuda: "Evaluation of QOS-Control Servers on Real-Time Mach," Proc. 5th Intl. Workshop on Network and Operating System Support for Digital Audio and Video (NOSSDAV '95), pp. 123-126, 1995.
10. 河内谷, 徳田: "「QOSチケット」モデルに基づく連続メディア処理の動的QOS制御," 情処第7回コンピュータシステム・シンポジウム論文集, pp. 141-148, 1995.
11. 盛合, 木原, 南部, 徳田: "QOS制御のための外部資源管理機構について", 情処研報 95-OS-69, pp.61-66, 1995.
12. 木原, 尾上, 盛合, 南部, 徳田: "マルチメディアプラットフォームにおけるネットワークプロトコル", 情処研報 95-AVM-11, pp.15-20, 1995.
13. 河内谷, 徳田: "Qスレッド: 連続メディアの動的QOS制御に適したプロセス実行モデル," 第52回情処全大論文集 (2F-2), pp.3-215-3-216, 1996.

14. K. Kawachiya and H. Tokuda: "QOS-Ticket: A New Resource-Management Mechanism for Dynamic QOS Control of Multimedia," Proc. Intl. Symposium on Multimedia Systems: Multimedia Japan '96, pp.14-21, 1996.
 15. S. Oikawa and H. Tokuda: "System Support for Flexible Digital Video Players," Proc. Intl. Symposium on Multimedia Systems: Multimedia Japan '96, 1996.
 16. K. Kawachiya and H. Tokuda: "Dynamic QOS Control Based on the QOS-Ticket Model," Proc. 3rd IEEE International Conference on Multimedia Computing and Systems (ICMCS '96), 1996.
- 学会・研究会発表等 (List of Conferences and Seminar Presentations)
 1. The 6th International Workshop on Network Operating System Support for Digital Audio and Video (NOSSDAV-96)
 2. The Intl. Symposium on Multimedia Systems: Multimedia Japan '96,
 3. Second International Workshop on Real-Time Computing Systems and Applications (RTCSA 95)
 4. Real-Time Mach Workshop '95
 5. 情報処理学会 コンピュータシステム・シンポジウム 1995.
 6. 情報処理学会 システムソフトウェアとオペレーティング・システム研究会
 7. 情報処理学会 マルチメディア通信と分散処理研究会
 8. 情報処理学会 第51回全国大会
 - 解説・評論 (Survey Papers and Critiques)
 1. 徳田, 斉藤: "マルチメディアにおける実時間処理技術の動向" 計測と制御, Vol.35, No. 1, Jan. 1996.
 - 表彰等 (Honors, Awards, and Special Recognition Received)
 1. Motorola Foundation Award (1989)
 2. 最優秀論文賞 (HICSS-16, 1983)
 3. 学術振興奨励賞 (電子情報通信学会, 1977)

- 氏名 (Name)
富田 勝 (TOMITA, Masaru)
- 担当科目 (Scholastic Activity:Teaching) 情報処理 Ib, 情報処理 Ic, 情報処理 II z, 人工知能論 I, 自然言語論 I, 研究会 A・B (遺伝子情報と生命進化), プロジェクト科目 (遺伝子情報解析), 情報数学第 3 (慶応理工学部)
- 研究分野 (Research Areas)
生命情報科学, 遺伝子情報処理, 分子生物学, 自然言語処理, 自動翻訳
- 研究プロジェクト活動 (Proposal and Award Activity)
 1. 「遺伝子の言語学的解析に関する研究」, 慶應義塾大学大型研究助成
 2. 「イントロンと繰り返し配列のコンピュータ解析」文部省科学研究費重点領域「ゲノムサイエンス」
- 学外での役員・委員等 (Professional Activities)
ACL Special Interest Group on Parsing (SIGPARSE) 幹事長, Machine Translation Journal, Editorial Board, 言語処理学会 評議員, 新世代コンピュータ開発機構「蛋白質構造予測グループ」委員, 第 4 回国際パーズングワークショップ運営委員, 第 5 回人工生命国際会議運営委員
- 著書・論文等 (List of Full Length Refereed Papers)
 1. “意味不明の DNA 配列パターンのコンピュータ解析” 富田勝; 「情報処理」, Volume 37, Number 10, 1996
 2. “数学で見た生命と進化” 富田勝監訳; 講談社ブルーバックス, 1996.3
 3. “生命と情報” 富田勝監修; 湘南藤沢学会, 1996.3
 4. “Artificial Intelligence” Junko Hara and Masaru Tomita; *Clinical Neuroscience*, Volume 14, Number 1, 1996.1
- 学会・研究会発表等 (List of Conferences and Seminar Presentations)
 1. “On Correlation Between Splicing Sites and Codon Positions” Masaru Tomita and Doug Brutlag; *Annual Meeting of the Society for Molecular Biology and Evolution*, Tucson, Arizona, 1996 年 6 月
 2. “Computer Analysis of Primate ALU Sequences and their Poly-A Tails” Yoshimi Toda, Masaru Tomita and Jerzy Jurka; *Annual Meeting of the Society for Molecular Biology and Evolution*, Tucson, Arizona, 1996 年 6 月

3. "Comparisons of Dinucleotide Distribution around Start Codons and Splicing Junctions Among Several Taxonomical Groups" T. Shimizu, Y. Asakawa and M. Tomita; *Annual Meeting of the Society for Molecular Biology and Evolution*, Tucson, Arizona, 1996 年 6 月
4. "Computer Analysis of Splicing Sites and Codon Positions" Masaru Tomita and Doug Brutlag; *4th International Conference on Intelligence Systems for Molecular Biology (ISMB96)*, St Louis, 1996 年 6 月
5. "Computer Analysis of Primate ALU Sequences and their Poly-A Tails" Yoshimi Toda, Masaru Tomita and Jerzy Jurka; *4th International Conference on Intelligence Systems for Molecular Biology (ISMB96)*, St Louis, 1996 年 6 月
6. "Comparisons of Dinucleotide Distribution around Start Codons and Splicing Junctions Among Several Taxonomical Groups" T. Shimizu, Y. Asakawa and M. Tomita; *4th International Conference on Intelligence Systems for Molecular Biology (ISMB96)*, St Louis, 1996 年 6 月
7. "Computer Analysis of ATG Trinucleotides near Start Codons" Rintaro Saito and Masaru Tomita; *4th International Conference on Intelligence Systems for Molecular Biology (ISMB96)*, St Louis, 1996 年 6 月
8. "On Correlation between Splicing Sites and Codon Positions" Masaru Tomita and Doug Brutlag; *International Symposium on Evolution of Molecular Information*, Tokyo, 1996 年 4 月
9. "Computer Analysis of Primate ALU Sequences and their Poly-A Tails" Yoshimi Toda, Masaru Tomita and Jerzy Jurka; *International Symposium on Evolution of Molecular Information*, Tokyo, 1996 年 4 月
10. "Comparisons of Dinucleotide Distribution around Start Codons and Splicing Junctions Among Several Taxonomical Groups" T. Shimizu, Y. Asakawa and M. Tomita; *International Symposium on Evolution of Molecular Information*, Tokyo, 1996 年 4 月
11. "Computer Analysis of ATG Trinucleotides near Start Codons" Rintaro Saito and Masaru Tomita; *International Symposium on Evolution of Molecular Information*, Tokyo, 1996 年 4 月
12. "Computer Analysis of Splicing Sites and Codon Positions" Masaru Tomita and Doug Brutlag; *International Symposium on Theoretical and Computational Genome Research*, Heidelberg, Germany, 1996 年 3 月
13. "Computer Analysis of Primate ALU Sequences and their Poly-A Tails" Yoshimi Toda, Masaru Tomita and Jerzy Jurka; *International Symposium*

on Theoretical and Computational Genome Research, Heidelberg, Germany, 1996年3月

14. “意味不明な DNA 配列パターンコンピュータ解析” BIO JAPAN'96, 東京, 1996年7月
15. “遺伝子情報処理とバイオインフォマティクス” 富田勝; 現代科学・技術の最前線セミナー, 東京, 1996年2月
16. “イントロンと DNA 繰り返し配列のコンピュータ解析” 富田勝; 文部省重点領域「ゲノムサイエンス」ワークショップ, 京都, 1995年12月
17. “Parsing DNA Sequences”, Masaru Tomita; *International Workshop on Parsing Technologies*, Prague, Czech, 1995年8月
18. “An Analysis on the Emergent Behavior of a Virtual Market System”, Atsushi Shinjoh, Kazuo Takagi, Masanao Takeyama and Masaru Tomita; *European Conference on Artificial Life*, 1995年6月
19. “Local Metabolizing Cell and Interaction with the Environment”, Kazuo Takagi, Takashi Kido, Atsushi Shinjoh and Masaru Tomita; *European Conference on Artificial Life*, 1995年6月

- 氏名 (Name)
富永 健一 (TOMINAGA, Ken'ichi)
- 担当科目 (Scholastic Activity:Teaching)
SFC：社会環境論, 社会動態論, 研究会 I (合理的選択理論と経済社会学), 研究会 II (社会階層の計量分析), 大学院プロジェクト (社会経済システムの評価と指標), 三田大学院：社会学特論 (経済と社会), 社会学演習 (研究指導)
- 研究分野 (Research Areas)
社会学 (行為理論, 社会システム理論, 社会変動・近代化理論, 社会階層の計量分析, 経済社会学, 組織理論)
- 学内委員等 (University Service, Committees etc.)
SFC：データベースガイド編集委員, 三田大学院：社会学研究科委員
- 学外での役員・委員等 (Professional Activities)
経済社会学会会長, 社会学史学会常任理事, Deutsch-Japanische Gesellschaft fuer Sozialwissenschaften, Vize-Präsident (副会長), 厚生省中央社会保障審議会委員
- 著書・論文等 (List of Full Length Refereed Papers)
 1. 『社会学講義』中央公論社 (中公文庫)
 2. 『行為と社会システムの理論』東京大学出版会
 3. 『近代化の理論』講談社 (学術文庫)
- 学会・研究会発表等 (List of Conferences and Seminar Presentations)
 1. Nationalism in an Age of Globalization, Paper submitted to IIS (Institut Internationale de Sociologie) Congress in Trieste
- 表彰等 (Honors, Awards, and Special Recognition Received)
紫綬褒賞

- 氏名 (Name)
苗村 憲司 (NAEMURA, Kenji)
- 担当科目 (Scholastic Activity:Teaching)
硬い論理, 柔らかい論理, 計算機能論, 情報関連法, 研究会 1(知的財産権), 研究会 2(情報通信セキュリティ), 大学院プロジェクト (知的財産権とパブリックドメイン)
- 研究分野 (Research Areas)
情報通信システム, 計算機システム構成, プロトコル, 論理数学, 符号, 情報通信セキュリティ, 技術標準, 知的財産権
- 研究プロジェクト活動 (Proposal and Award Activity)
 1. S F C コンソーシアム「知的財産情報の流通システム」
- 学内委員等 (University Service, Committees etc.)
大学評議会委員, SFC 合同運営委員会運営委員
- 学外での役員・委員等 (Professional Activities)
情報処理学会 情報規格調査会 SC27(情報セキュリティ) 専門委員会 委員長, 電子情報通信学会 電子情報通信技術と知的財産権研究専門委員会 委員長, 電子情報通信学会 情報通信倫理研究専門委員会 委員, 電信電話技術委員会 工業所有権等基本指針等検討委員会 委員長, 郵政省 21 世紀に向けた通信・放送の融合に関する懇談会 幹事会委員, 通産省 情報処理振興審議会 ソフトウェア部会 委員, 藤沢市 地域情報化推進会議 委員長
- 著書・論文等 (List of Full Length Refereed Papers)
 1. K.Naemura, "User Involvement in the Life Cycles of IT and Telecommunication Standards", in R. Hawkins, R. Mansell and J. Skea, ed. 'Standards, Innovation, Competitiveness and Policy', Edward Elgar Pub. p.93-102, ISBN 1 85898 037 2 (Mar. 1995)
- 学会・研究会発表 (List of Conferences and Seminar Presentations)
 1. 苗村「情報通信技術の標準化における知的財産権の取扱いについて」, 電信電話技術委員会セミナー (1995-09-07)
 2. 苗村「ネットワーク環境下の図書館サービスにおける著作権問題について」, 三田図書館情報学会月例会 (1995-09-30)

3. 苗村「高度標準化に向けた標準化と知的財産権の整合性」, 日本規格協会第 38 回標準化全国大会 (1995-10-04)
 4. 苗村「研究情報の電子的流通における知的財産権保護の意義と手段に関する考察」, 情報処理学会 情報学基礎研究会 40-3 (1995-11-09)
 5. 苗村「技術標準化と知的財産権を巡る諸問題」, 日本ライセンス協会 月例会 (1995-11-22)
 6. 苗村「技術標準に付着する知的財産権の意義と課題」, 特許庁セミナー (1995-12-08)
 7. 苗村「マルチメディア・ネットワーク時代の知的財産権」, 情報科学技術協会サーチャーターの会 月例会 (1995-12-08)
 8. 小出, 須川, 苗村「インターネットを利用した情報共有における著作権処理に関する検討」, 情報学'96 シンポジウム (1996-01-17)
 9. 段野, 梅崎, 苗村「電子的著作権管理システムの比較検討」, 電子情報通信学会 電子情報通信技術と知的財産権に関する研究会 EICIPR 96-6-3 (1996-06-06)
- 解説・評論 (Survey Papers and Critiques)
1. 苗村「未来からの留学生の現実社会への旅立ち」, IDE-現代の高等教育, No.364, pp.25-30 (1995-03)
 2. 苗村「技術標準を巡る知的財産権問題に関する知財研調査研究報告概要」, 知財研フォーラム, Vol.22 (1995-07)
 3. 苗村「技術標準化における知的所有権の役割について」, 特技懇, 183 号 (1995-11)

- 氏名 (Name)
中村 修 (NAKAMURA, Osamu)
- 担当科目 (Scholastic Activity:Teaching)
情報処理 I
- 研究分野 (Research Areas)
コンピュータネットワーク, インターネット
- 研究プロジェクト活動 (Proposal and Award Activity)
 1. WIDE プロジェクト
 2. 全塾ネットワーク
- 学内委員等 (University Service, Committees etc.)
ネットワークシステム委員会, ラップトップ委員会
- 学外での役員・委員等 (Professional Activities)
JEPG/IP 委員, WIDE プロジェクトボードメンバー, インターネット 1996 World Expo 運用基盤部会 副会長
- 著書・論文等 (List of Full Length Refereed Papers)
 1. 「インターネット参加の手引 1996 年度版」 Bit 別冊, WIDE プロジェクト編, 共立出版
- 学会・研究会発表等 (List of Conferences and Seminar Presentations)
 1. 「商用インターネット相互接続実験 - NSPIXP -」 中村 修 IP Meeting '95, JEPG/IP
 2. "Problems and Solutions of DHCP - Experiences with DHCP Implementation and Operation", Proceedings of Inet '95, Internet Society,

- 氏名 (Name)
西岡 啓二 (NISHIOKA, Keiji)
- 担当科目 (Scholastic Activity:Teaching)
組合せの理論, 量の理論, 数理モデル
- 研究分野 (Research Areas)
微分代数, 複素領域における微分方程式
- 学内委員等 (University Service, Committees etc.)
学習指導
- 著書・論文等 (List of Full Length Refereed Papers)
 1. Differential field extensions with no movable algebraic branches, to appear in Hokkaido Mathematical Journal.
 2. Lie extensions, to appear in Funkcial. Ekvac.
 3. The first equation of Painlevé – Differential algebraic aspects –, Proc. 5th Int. Colloq. D.E., 123-129(1995).

- 氏名 (Name)
ネルソン, セオドア H (NELSON, Theodor Holm)
- 担当科目 (Scholastic Activity:Teaching)
情報メディア論 (Information Media), シネマ・オブ・ザ・マインド (Cinema of the Mind)
- 研究分野 (Research Areas)
Hypertext, Electronic Document Structure, Computer Interaction, Computer Visualization, Multimedia, General Strategics, Sociobiology of Psychology, Idea Mechanics
- 著書・論文等 (List of Full Length Refereed Papers)
 1. "The Heart of Connection: Hypermedia United by Transclusion." Communications of the ACM.
- 学会・研究会発表等 (List of Conferences and Seminar Presentations)
 1. 2.17.1995 "Literature: The Lasting Information World." The Body as Media Conference, Tokyo.
 2. 3.22.1995 HyperLab Open House, Sapporo, "Five Papers on Zips and Xanadu"
 3. 4.19.1995 Seminar Presentation at Hitachi Research Labs, Tokyo.
 4. 4.21.1995 Presentation at Kickoff Meeting of Digital Vision Laboratories Consortium, Tokyo. "Xanadu Forever."
 5. 5.23.1995 Presentation at Sapporo American Center conference, Sendai.
 6. 5.31.1995 "The Transclusion Paradigm." Presentation at Euro-Japanese Conference on Information Modelling and Knowledge Bases, Sapporo.
 7. 6.7.1995 Presentation at Digital World, Los Angeles, USA.
 8. 6.13.1995 Presentation at BayChi, Palo Alto, USA.
 9. 7.24.1995 HyperLab Open House, Sapporo. "Transparallel Media and Tomorrow's Literature"
 10. 9.25.1995 Presentation at Keio University, Shonan Fujisawa Campus.
 11. 10.2.1995 "From Zips to Xanadu, A Continuum of Transmedia." HyperLab Open House, Sapporo.
 12. 10.12.1995 Presentation at Vannevar Bush "As We May Think" 50th Anniversary Symposium, M.I.T., Boston.

13. 11.1.1995 Interviewed for "Die Zeit" (German newspaper), Hamburg, Germany.
14. 11.1.1995 Keynote: "Toward a Stable Electronic Literature," Interface 3 Conference, Hamburg, Germany
15. 11.5.1995 Presentation at Hacker Conference, Lake Tahoe, USA.
16. 11.15.1995 "The Architectonics of Media Space," Nagoya Artificial Intelligence Conference.
17. 11.18.1995 HyperLab Final Symposium at Sapporo Electronic Center.
18. 2.5-6.1996 Two-day seminar to international "High Tech Academy" at Sapporo Electronic Center.
19. 2.6.1996 TV interview: CNBC-TV Business News interview.
20. 2.7-8.1996 TV interview: Antelope Productions 3-part documentary on Cyberspace for British TV.
21. 2.21.1996 "Deeper Connections for Tomorrow's Media." Imagina Conference, Monte Carlo.
22. 2.23.1996 Presentation at Technology and Pedagogy Conference, Boraas, Sweden.
23. 3.16.96 "Retro-Hyperization with Xanalogical Structure: Issues in the Applicative Hyperization of Unwitting Systems." Workshop on Adding Hypertext Functionality to Existing Systems, Hypertext 96 Conference, Washington, D.C., March 1996. (My paper was presented by Daniel Gross of Flow Research, New York City, since I was in Japan and unable to attend in person.)
24. 3.19.96 Presentation at Closing Open House at HyperLab, Sapporo.
25. 4.5.1996 Kickoff speech to new students, Keio University, Shonan Fujisawa Campus.
26. 6.6.1996 "Transcopyright: a very simple solution to the problem of on-line rights." IEICE Technical Group Meeting on Electronics, Information and Communication Technologies and Intellectual Property Rights (EICIPR), Tokyo,
27. 6.15-16.1996 HyperCoin Workshop, San Francisco.
28. 6.19.1996 "Media for the Future: Seeking the Appropriate Generalization of Literature, Movies and Diagrammatics." IEEC Multimedia Conference, Hiroshima, Japan.

- 表彰等 (Honors, Awards, and Special Recognition Received)
Knighthood, Tokyo Priory of Order of Knights Templar.

- 氏名 (Name)
萩野 達也 (HAGINO, Tatsuya)
- 担当科目 (Scholastic Activity:Teaching)
情報処理 I, 情報処理 IIC, 知識処理論 I, 分散知能論, プログラミング言語意味論
- 研究分野 (Research Areas)
システムソフトウェアと基礎理論
- 研究プロジェクト活動 (Proposal and Award Activity)
 1. オープンメディアコンソーシアム (オープン分散プロジェクト)
 2. マルチメディア教育ネットワークプロジェクト (コンソーシアム)
 3. 並列分散コンソーシアム
 4. 開放型基盤ソフトウェア研究開発プロジェクト (情報処理振興協会委託研究)
 5. 次世代マイクロカーネル研究開発プロジェクト (情報処理振興協会委託研究),
 6. マルチメディア教育システムに関する研究 (学事振興資金)
 7. 教育先進的ソフトウェア「人体ウォークスルー」(情報処理振興協会委託研究)
 8. オンライン・ユニバーシティ
- 学内委員等 (University Service, Committees etc.)
ネットワークシステム委員会委員, ラップトップ委員会委員, ローカルガイド編集委員, 学習指導副主任
- 学外での役員・委員等 (Professional Activities)
京都大学大型計算機センター計算機方式研究委員会委員
- 著書・論文等 (List of Full Length Refereed Papers)
 1. 開放型基盤ソフトウェア研究評価事業に係わる「マルチメディア統合環境基盤ソフトウェア設計評価報告書 (平成7年度)」, 共著, 1995年3月, 慶應義塾大学環境情報研究所
 2. 「マルチメディア教育ネットワークプロジェクト1994年度報告書」, 共著, 1995年3月, 慶應義塾大学環境情報研究所
 3. 「情報処理教育5年間のあゆみ」, 共著, 1995年4月, 湘南藤沢学会, IEI-RM 95-012
 4. 「知識処理論」, 1995年6月, 産業図書

5. 「マルチメディア教育ネットワークプロジェクト 1995 年度報告書」, 共著, 1996 年 3 月, 環境情報研究所
 6. 開放型基盤ソフトウェア研究評価事業に係わる共著, 「マルチメディア統合環境基盤ソフトウェア設計評価報告書」, 1996 年 3 月, 慶應義塾大学環境情報研究所
 7. 「The Massively Parallel Processing System JUMP-1」, 共著, 1996, オーム社
- 学会・研究会発表 (List of Conference and Seminar Presentations)
 1. 「Multimedia Information Organizer (MIO) システムの設計」, 共著, 1995 年 11 月, 情報処理学会 OS 研究会, 95-OS-71, 95-DPS-73, pp. 117-122
 2. 「オペレーティングシステム開発環境の設計と実装」, 共著, 1996 年 5 月 情報処理学会 OS 研究会.

- 氏名 (Name)
服部 隆志 (HATTORI, Takashi)
- 担当科目 (Scholastic Activity:Teaching)
情報処理 Ibc, 情報処理 IIC, 人工知能論 II
- 研究分野 (Research Areas)
様相論理プログラミング, 制約プログラミング, ユーザインターフェース, 例示プログラミング
- 研究プロジェクト活動 (Proposal and Award Activity)
マルチメディア統合環境基盤ソフトウェア
- 学内委員等 (University Service, Committees etc.)
ネットワークシステム委員, AO 入試委員
- 学外での役員・委員等 (Professional Activities)
ソフトウェア科学会企画委員
- 著書・論文等 (List of Full Length Refereed Papers)

1. 動的領域制御を行う共有文書編集システムの設計 (共著), インタラクティブシステムとソフトウェア III, 近代科学社, 1995, pp.201-210.

[概要] 動的な領域管理によって, 実時間で共有データを編集する協調作業支援システムの設計について述べる。本システムの特徴はまず第一に, ファイルを分割管理する単位であるリージョンの粒度を動的に変更することである。同時に複数のユーザが接近した部分を同時にアクセスしている場合はリージョン粒度を小さく, 離れた部分を同時にアクセスしている場合はリージョン粒度を大きく, それぞれ設定することで, 排他制御のコストを抑制しつつ, ユーザの作業の妨げになる書き込み禁止状態をほとんどなくすることができる。また, その粒度の管理は自動的に行われるので, 共有に対して完全に透過的な操作性が実現されている。第二の特徴は, 文書編集においては他のユーザが変更している過程のリアルタイムでの参照は必ずしも必要でないという点に着目し, データ転送をバッファリングすることによって通信量を削減している。さらに, バッファをフラッシュする間隔はリージョンごとに設定し, そのリージョンが参照される可能性が高いほど短くすることによって高い応答性を確保している。

- 氏名 (Name)
濱田 庸子 (HAMADA, Yoko)
- 担当科目 (Scholastic Activity:Teaching)
保健衛生講義
- 研究分野 (Research Areas)
精神医学, 精神分析学, 乳幼児精神保健, 児童思春期精神医学
- 学内委員等 (University Service, Committees etc.)
心身ウェルネスセンター (学生相談)
- 学外での役員・委員等 (Professional Activities)
慶応児童治療研究会運営委員
- 著書・論文等 (List of Full Length Refereed Papers)
 1. 濱田庸子：「乳幼児精神医学における父親研究」, 精神療法, Vol.121,pp439-444,1995
 2. 濱田庸子, 鹿取淳子, 荒木乳根子, 加藤恵, 佐藤いづみ, 福田智子：「聖徳大学短期大学部における「こころの相談」の歩み」, 『聖徳大学短期大学部創立30周年記念論文集』, pp559-574, 聖徳大学出版会, 1995

- 氏名 (Name)
日端 康雄 (HIBATA, Yasuo)
- 担当科目 (Scholastic Activity:Teaching)
景観設計論, 都市構成論, 概念構築 (環境), プロジェクト科目『エコシティの設計理念とプランニング』, 研究会
- 研究分野 (Research Areas)
都市計画, 都市工学
- 研究プロジェクト活動 (Proposal and Award Activity)
 1. 21 世紀の都市計画システム研究
 2. 東アジアのメガシティの自然環境条件の影響
 3. 東アジアのメガシティの居住環境条件
 4. 景観スタジオ研究
 5. インターネットを用いた都市計画マスタープランニング (Cyber Urban Master Planning 研究)
 6. 地区計画適用基礎調査
- 学内委員等 (University Service, Committees etc.)
運営委員, 施設・環境委員会委員長, 人事委員会委員, 大学院学習指導主任, カリキュラム WG 委員, データベース委員会委員, メディア協議会委員, BRNS ユーザー協議会委員, SFC 協議会委員ほか
- 学外での役員・委員等 (Professional Activities)
日本都市計画学会理事・学会賞選考委員, 財団法人地域社会研究所評議員, 財団法人第一住宅建設協会評議員, 住宅宅地審議会委員 (建設省), 東京都住宅政策審議会委員, 東京都活力ある産業懇談会委員, 同小委員会委員, 品川区都市計画審議会委員, 大和市都市計画マスタープラン策定委員会委員長, 岡山市都市ビジョン懇談会会長, その他
- 著書・論文等 (List of Full Length Refereed Papers)
小林隆, 日端康雄『東京区部における住宅マスタープランの目標, 構成内容とその評価』都市住宅学会第 3 回学術講演会研究発表論文集 第 11 号 1995. 10
- 学会・研究会発表等 (List of Conferences and Seminar Presentations)
HIBATA, YASUO et. al "Natural Environmental Effects on Land Use in Inner Urban Area" The first Inter - University Seminar on Asian Megacities, 1996. 3

- 解説・評論 (Survey Papers and Critiques)

1. 日端康雄「質の高い宅地供給の促進について」建設月報 Vol. 426 建設広報協議会, pp.10 - 11, 1996. 5
2. 日端康雄他「今後の宅地開発事業を考える」住まいとまち, No. 74, pp. 6 - 19, (財) 不動産流通近代化センター, 1996.6
3. 日端康雄他「転換期の再開発のよみかた」埼玉県, 住宅・都市整備公団, (財) 埼玉総合研究機構, 1996. 2

- 氏名 (Name)
 - 福田 忠彦 (FUKUDA, Tadahiko)
- 担当科目 (Scholastic Activity:Teaching)
 - 生体情報論 I, 生体情報論 II, 知覚情報分析論, 研究会 1, 研究会 2, 大学院プロジェクト (視環境評価)
- 研究分野 (Research Areas)
 - 人間工学, 視覚心理
- 研究プロジェクト活動 (Proposal and Award Activity)
 1. 人間のパターン認識に関する基礎研究 (学事振興資金)
 2. 注視点分析による視環境の客観評価法に関する研究 (文部省科研費基盤研究 (B)(2))
 3. 視覚障害者の情報処理機能 (学術振興資金)
- 学内委員等 (University Service, Committees etc.)
 - 運営委員, 図書委員, 塾長賞選考委員
- 学外での役員・委員等 (Professional Activities)
 - 日本人間工学会評議委員, 日本人間工学会視覚エルゴノミクス・研究部会委員, 照明学会視覚研究専門部会委員, SID(Society for Information Display) 国際プログラム委員, 労働省産業医学総合研究所流動研究委員, 早稲田大学人間科学部客員研究員
- 著書・論文等 (List of Full Length Refereed Papers)
 1. (著書): 神経眼科 眼科診療 Q&A, 六法出版社, 1995. (Apr.) (一部分担執筆, 「眼球運動測定装置」)
 2. (著書): 福田忠彦, 生体情報システム論, 産業図書, 1995. (Oct.)
 3. (著書): 福田忠彦, 渡辺利夫, ヒューマンスケープ, 日科技連出版社, 1996. (Jun.)
 4. (論文): 福田亮子, 福田忠彦, 楽譜の視覚情報処理単位に関する実験的検討—文字列との比較—, 人間工学, Vol.31, No.3, pp.179-189, 1995. (Jun.)
- 学会・研究会発表等 (List of Conferences and Seminar Presentations)
 1. 福田亮子, 平高史也, 福田忠彦, 漢字の視覚情報受容に関する実証的研究, 1995年5月, 平成7年度日本語教育学会春期大会 (東京)

2. 佐久間美能留, 福田亮子, 中村悦夫, 福田忠彦, 運動視標追隨時における遮へい物の影響, 1995年6月, 日本人間工学会第36回大会(仙台)
3. 鴻巣努, 鈴木美加, 福田忠彦, 第二外国語習得過程における学習者の読解ストラテジーに関する考察, 1995年6月, 日本人間工学会第36回大会(仙台)
4. 福田亮子, 中村悦夫, 佐久間美能留, 福田忠彦, 運動視標追隨時の随従性眼球運動の発生に関する実験的検討, 1995年6月, 日本人間工学会第36回大会(仙台)
5. 中村悦夫, 佐久間美能留, 福田亮子, 福田忠彦, 画像解析における注視点の定義に関する実験的検討, 1995年6月, 日本人間工学会第36回大会(仙台)
6. 久保田弥生, 斉藤貴臣, 菅野歩, 福田忠彦, バスケットボール選手の視覚情報処理 その1～シュート時における眼球運動と頭部運動～, 1995年6月, 日本人間工学会第36回大会(仙台)
7. 斉藤貴臣, 菅野歩, 久保田弥生, 福田忠彦, バスケットボール選手の視覚情報処理 その2～パス選択時における眼球運動と頭部運動～, 1995年6月, 日本人間工学会第36回大会(仙台)
8. 菅野歩, 久保田弥生, 斉藤貴臣, 福田忠彦, バスケットボール選手の視覚情報処理 その3～実践的状況における眼球運動と頭部運動～, 1995年6月, 日本人間工学会第36回大会(仙台)
9. 服部和子, 福田忠彦, 新聞紙面上の見出し地紋の見やすさに関する実験的検討, 1995年6月, 日本人間工学会第36回大会(仙台)
10. 北原ゆり, 鴻巣努, 福田忠彦, 視線分析法による店舗内消費者行動に関する考察, 1995年6月, 日本人間工学会第36回大会(仙台)
11. 有近晋, 鴻巣努, 福田忠彦, 2輪自動車運転者の視覚情報処理に関する考察, 1995年6月, 日本人間工学会第36回大会(仙台)
12. T.Konosu, T.Fukuda, Visual information processing of a motorcycle rider, 1995年9月, 8th European Conference on Eye Movements (Derby, UK)
13. R.Fukuda, M.Sakuma, E.Nakamura, T.Fukuda, An experimental consideration on the definition of a viewing point, 1995年9月, 8th European Conference on Eye Movements (Derby, UK)
14. 鴻巣努, 重松淳, 福田忠彦, アイカメラによる Non-native の読みに関する実証的研究(第3報), 1995年10月, 平成7年度日本語教育学会秋季大会(福岡)
15. 高橋さやか, 福田忠彦, 照明を見る際の視覚情報処理, 1996年4月, 平成8年度照明学会全国大会(長崎)
16. 神保有紀, 福田忠彦, 駅における発車認知の聴環境評価, 1996年5月, 日本人間工学会第37回大会(所沢)

17. 福田亮子, 佐久間美能留, 中村悦夫, 福田忠彦, 両眼の眼球運動の相関に関する実験的検討, 1996年5月, 日本人間工学会第37回大会(所沢)
18. 服部和子, 福田亮子, 福田忠彦, 幼児のテレビ番組視聴時の目の動き, 1996年5月, 日本人間工学会第37回大会(所沢)
19. 佐久間美能留, 福田忠彦, 海上における視覚情報処理, 1996年5月, 日本人間工学会第37回大会(所沢)
20. 鴻巣努, 福田忠彦, 書写形式の異なるテキストを用いた日本語読解プロセスに関する考察, 1996年5月, 日本人間工学会第37回大会(所沢)
21. 平野さやか, 福田忠彦, 注意の時間的変動と空間的配分に関する実験的検討, 1996年5月, 日本人間工学会第37回大会(所沢)

- 氏名 (Name)
藤幡 正樹 (FUJIHATA, Masaki)
- 担当科目 (Scholastic Activity:Teaching)
情報処理 IIA, コンピュータアート II, 映像環境論, メディア空間論, プロジェクト
- 研究分野 (Research Areas)
コンピュータアート
- 研究プロジェクト活動 (Proposal and Award Activity)
 1. 慶応-ACI ダビンチプロジェクト
英国王室が保有するレオナルドダビンチの解剖図をもとに高精細デジタル化した画像と CG による映像を構成したマルチメディア作品を制作。目黒の都立庭園美術館で開催されたレオナルドダビンチ「人体解剖図」展では5台のモニターを用いて展示された。
 2. The Future of the Book of the Future 展
湘南藤沢キャンパス内に新設された「情報基盤センター」の1階ギャラリーを利用して、企画制作した、本の未来についてアートのアングルから考えるための美術展覧会。10月8日から28日まで開催。10月7日には高山宏, Tjebbe van Tijen, Conrad Gleber を交えてシンポジウムを開催した。
 3. "BeyondPages"
Table の上に Projector によって表示された本の画像を digitizer の pen によって操作する作品。"The Future of the Book of the Future"展に出品。
 4. Global Interior Project #1 for IC'95 in Tokyo
NTT/ICC からの要請で NTT Human Interface Lab とのコラボレーションで作品を制作。InterCommunication'95 にて発表展示。DigitalNetworking のもつ可能性と隠された Concept について考えた作品。
 5. Mt.Fuji server
SFC に設置された PAN と ZOOM が自由にできるカメラを Internet から操作できるようにした作品。IC'95 で展示
 6. 百万塔陀羅尼 viewer
"The Future of the Book of the Future"展に出品した作品を通産省主催の"DigitalArchive"展に出品
- 著書・論文等 (List of Full Length Refereed Papers)
 1. 単著「巻き戻された未来」JustSystem 刊行

2. 企画編集 ”The Future of the Book of the Future”展カタログ JustSystem 刊行
3. JustMOAI ジャストシステムの月刊雑誌の表紙制作
4. 岐阜県立国際情報芸術科学アカデミーの学校案内編集デザイン

● 学会・研究会発表等 (List of Conferences and Seminar Presentations)

1. 大日本印刷主催「メディアスケープフォーラム」のコーディネーター
2. キヤノン「ピクセルフォーラム」講演
3. 資生堂, たてしなフォーラム 講演
4. 岐阜「インタラクション '95」シンポジウム, パネラー
5. 情報通信学会 総会 講演
6. 東京造形大学 講演
7. SFC フォーラム 講演
8. 「ダンスとアルゴリズム」William Forthis と対談
9. JAGDA 横浜総会 講演

- 氏名 (Name)

古川 康一 (FURUKAWA, Koichi)

- 担当科目 (Scholastic Activity:Teaching)

知識ベース論 (環境情報学部), 人工知能論, 研究会 (環境情報学部), 総合講座 (大学院), 知識構築法 (大学院), ノーベル・コンピューティングと機械学習 (大学院)

- 研究分野 (Research Areas)

人工知能, 機械学習, 論理プログラミング, 帰納論理プログラミング, 技能解析, 暗黙知の言語化, データベースからの知識発見, 並行論理プログラミング

- 研究プロジェクト活動 (Proposal and Award Activity)

1. 論理による発見・創造過程のモデル化 (文部省科学研究費)
2. コンピュータによる知的発見・創造の支援に関する研究 (文部省科研費国際学術研究)
3. KL1 による分散人工知能に関する調査研究 (新世代コンピュータ技術開発機構委託研究)
4. 帰納的方法論に基づく暗黙知の言語化 (慶應義塾大型研究)

- 学内委員等 (University Service, Committees etc.)

SFC 運営委員, 大学院政策・メディア研究科委員長補佐, CDP 委員, ネットワーク委員, 大学院ユーザ協議会委員長, 環境情報研究所運営委員

- 学外での役員・委員等 (Professional Activities)

ICLP'95 議長, IJCAI-97 Local Arrangement Chair, 国際学術誌 New Generation Computing 副編集長, ソフトウェア科学会評議員, Machine Intelligence Workshop 組織委員, Inductive Logic Programming Workshop プログラム委員, 人工知能学会評議員

- 著書・論文等 (List of Full Length Refereed Papers)

1. K. Furukawa, D. Michie, S. Muggleton, Machine Intelligence 14, Carendon Press, Oxford, 1995.

訳書:

1. J. R. Quinlan 著, 古川監訳, AI によるデータ解析 (Programs for Machine Learning), トッパン, 1995.

- 学会・研究会発表等 (List of Conferences and Seminar Presentations)

1. K. Shimazu and K. Furukawa, Design of Database Interface to ILP for Building Knowledge Base, Proceedings of the Ninth International Conference on Industrial & Engineering Application of Artificial Intelligence and Expert Systems.
2. K. Furukawa, A Framework for Verbalizing Unconscious Knowledge base on Inductive Logic Programming, Machine Intelligence 15, 1996.

- 氏名 (Name)
向井 国昭 (MUKAI, Kuniaki)
- 担当科目 (Scholastic Activity:Teaching)
知識処理 II, 自然言語論 II, 情報処理 II(L)(ロジックプログラミング)
- 研究分野 (Research Areas)
情報の意味に関する数理論理的な研究 (状況理論/意味論, 超集合論, 知識表現, 制約論理プログラミング). 現在特に, 視覚情報を使った「Hyper-Proof」や, 異種 (heterogeneous) 推論の基礎, Linear Logic の応用, ネットワークエージェントの言語行為論, に関心を持つ.
- 研究プロジェクト活動 (Proposal and Award Activity)
 1. 文部省科研費一般研究 B, 「論理による発見・創造過程のモデル化に関する研究」(共同研究). (メンバ)
 2. 文部省科研費一般研究「思考と言語」研究会. (メンバ)
 3. 平成 8 年度科研費 総合研究 (A) 「カテゴリ論的計算機科学の総合的研究」(課題番号 08304017)[基盤研究 (A)(1)]. (メンバ)
- 学内委員等 (University Service, Committees etc.)
運営委員会 (技術系就職担当), スチューデントライフ委員
- 著書・論文等 (List of Full Length Refereed Papers)
 1. K. Mukai: Constraints on Coalgebras, in J. Seligman and D. Westerstahl (eds.), Logic, Language and Computation, Vol.1, CSLI Lecture Notes No. 58, CSLI Publications, 1996.
- 学会・研究会発表等 (List of Conferences and Seminar Presentations)
 1. K. Mukai: Unification over Final Coalgebras as Generalized Information Structures, International Workshop on Logic, Language and Information, at Chiba University, September 1995

- 氏名 (Name)
村井 純 (MURAI, Jun)
- 担当科目 (Scholastic Activity:Teaching)
コミュニケーションネットワーク論, 情報処理 II
- 研究分野 (Research Areas)
コンピュータコミュニケーション
- 研究プロジェクト活動 (Proposal and Award Activity)
 1. モービル広域ネットワーク
 2. WIDE (大規模広域分散環境の構築に関する研究)
- 学外での役員・委員等 (Professional Activities)
 科学技術庁省際ネットワーク整備・運用に係る基盤技術の調査研究 研究推進委員会委員, 学術情報センター学術研究情報ネットワークに関する計画調査会議・技術調整部会委員, 基盤技術研究促進センター技術評価委員会専門委員会委員, 神戸国際マルチメディア文化都市 (KIMEC) 構想推進委員会委員, さいたまインダストリアル・ビジネスパーク新基本計画検討委員会委員, 情報処理振興事業協会コンピュータ不正アクセス対策委員会委員, 情報処理学会マルチメディア通信と分散処理研究連絡会委員, 社団法人日本語教育学会事務局マルチメディア日本語教材の共同開発・利用のための総合的研究, 知的情報活用交流機構 (IDEA) アドバイザリーボード, 通商産業省機械情報産業局電子政策課産業構造審議会情報産業部会, 通商産業省アジア・エネルギーネットワーク検討会 (APEC) 委員, 電気通信技術委員会・通信網部会マルチメディアネットワークング分科会専門委員, 電通ニューメディア事業局グループウェア・ソリューション'96 委員, 東京大学大型計算機センターネットワーク小委員会委員, 日本マルチメディアフォーラム (JMF) アドバイザリーボード委員, 日本インターネット協会 (IAJ) 副会長, 日本ネットワークインフォメーションセンター (センター長), (財) 日本エネルギー経済研究所太平洋地域エネルギー情報ネットワーク検討委員会委員, (株) 野村総合研究所交通システムリダンダンシー研究会委員, (財) ハイパーネットワーク社会研究所評議員, 郵政省電子決済・電子現金とその利用環境整備に関する調査研究会委員, 六本木再開発 Cyber66 研究会, OS/2 コンソーシアム役員, Internet Engineering Planning Group (IEPG) 委員, Asia Pacific Network Group (APNG) 委員,
- 著書・論文等 (List of Full Length Refereed Papers)
 1. 「インターネット宣言」, 講談社, 1995 年 2 月
 2. 「インターネット」, 岩波書店, 1995 年 11 月

3. 「インターネットユーザズガイド改訂版」, インターナショナル・トムソン・パブリッシング・ジャパン, 1995年1月, 監訳, 著書:エド・グロル, 訳:(株)エディックス
 4. 「インターネット宣言」, 講談社, 1995年2月
 5. 「インターネット探検記ーテクニカル旅行記ー」,(株)トッパン, 1995年3月, 監訳, 著書:カール・マラムド, 訳者:鈴木 撰
 6. 「インターネットの通信衛星利用実験」, 1995年4月, 共著者:登坂章弘, 西田佳史, 泉山英孝, 楠本博之, 山口英, 日本インターネット協会, IAJ NEWS
 7. 「インターネットのセキュリティ」, 1995年5月, 共著者:菊池浩明, 電子情報通信学会技術研究報告, Vol.95 No.64
 8. 「医療・医学におけるインターネットのポテンシャル」, 1996年3月, 日本ME(Medical Engineering)学会, 日本ME学会雑誌 BME Vol.10 No.2
 9. 「電子匿名アンケート機構の設計と実装」, 1996年4月, 共著者:横川典子, 菊池浩明, 情報処理学会 マルチメディア通信と分散処理 75-13
 10. Proceedings of CyberJapan:Technology, Policy & Society Symposium, The Library of Congress, 1996年5月
- 学会・研究会発表等 (List of Conferences and Seminar Presentations)
 1. 「インターネットの現状と動向」, 画像電子学会シンポジウム, 1996年4月
 2. 「インターネットが変える工学研究」, 日本航空宇宙学会, 1996年4月
 - 表彰等 (Honors, Awards, and Special Recognition Received)
 1. 「ソフト化賞特別賞」,(社)ソフト化経済センター, 1995年8月
 2. 「'95 日本新語・流行語大賞」, 日本新語・流行語大賞選定委員会, 1995年11月
 3. 「東京テクノフォーラム 21」ゴールドメダル, 読売・日本テレビ文化センター, 1996年5月

- 氏名 (Name)
安村 通晃 (YASUMURA, Michiaki)
- 担当科目 (Scholastic Activity:Teaching)
情報処理 I, IIP, インターフェイス設計論, 研究会 1,2, メディア構成論, マルチモーダルインターフェイス・プロジェクト
- 研究分野 (Research Areas)
ヒューマンインターフェイス, 並列プログラミング, コンピュータサイエンス
- 研究プロジェクト活動 (Proposal and Award Activity)
 1. 障害者向けコンピュータアクセス
 2. マルチメディア語学学習環境 (MALL)/マルチメディア教育ネットワーク
 3. マルチモーダルプラットフォーム
 4. 人と機械との音声による対話
 5. 臨場感通信/遠隔プレゼンテーション
 6. 並列コンパイラ/並列プログラミング
 7. 情報処理教育研究
- 学内委員等 (University Service, Committees etc.)
学部運営委員会委員, 環境情報研究所運営委員, メディアセンター協議会委員, コンソーシアム運営協議会委員, 湘南藤沢学会幹事, 他
- 学外での役員・委員等 (Professional Activities)
情報処理学会プログラミング研究会連絡委員, 同記号処理研究会連絡委員, 日本ソフトウェア科学会 WISS プログラム委員, Parallel Computing Editorial Board, 他
- 著書・論文等 (List of Full Length Refereed Papers)
 1. メタファー研究会: 意味の創造と変容, 慶應義塾大学言語コミュニケーション研究所 モノグラフ ILC-MONO 95-002, (1995 May).
 2. Iga, S., and Yasumura, M.: Interacting with Real Objects: Real Object Interface and Transferred Object Interface, Proc. of the 6th Int'l Conf. on Human Computer Interaction, (20B), (1995 Jun).
 3. 平川正人・安村通晃編: ビジュアルインタフェース -ポスト GUI を目指して, 共立出版, (1996 Jan).
 4. 安村通晃, 今野 潤, 八木正紀: マルチモーダルプラットフォーム MAI の構築に向けて, コンピュータソフトウェア, Vol.13, NO.3, (1996 May).

- 学会・研究会発表等 (List of Conferences and Seminar Presentations)

1. 共著: 実世界と仮想世界を分離する新しいコンセプト: Real Object Interface and Transferred Interface, WISS'95, (1995 Dec).
2. 共著: ジェスチャー入力によるマルチモーダルインタラクティブシステムの試作, 情報処理学会ヒューマンインタフェース研究会 60-9, (1995 May).
3. 共著: マルチメディア語学学習環境 MALL の開発と利用の現状について, 情報処理学会人文科学とコンピュータ研究会 26-8, (1995 May).
4. 共著: 音声対話におけるエージェントの態度と人間の発話の関連, 情報処理学会音声言語情報処理研究会 7-14, (1995 July).
5. 共著: 肢体不自由者をサポートするパーソナルテレプレゼンスロボットの試作と評価, 情報処理学会ヒューマンインタフェース研究会 62-4, (1995 Sep).
6. 共著: 光ペン・インタラクティブシステムによるプレゼンテーションシステム, 第 11 回ヒューマンインタフェースシンポジウム, (1995 Oct).
7. 共著: 双方向 CATV とマルチメディア教材を利用した遠隔講義支援システムの構築と評価, 日本教育工学会 研究会 JET95-6, (1995 Dec).
8. 共著: 双方向 CATV とオンライン教材を用いた遠隔教育の試み, 情報処理学会第 37 回プログラミング・シンポジウム, (1996 Jan).
9. 共著: データ駆動の手法を採り入れたデータパラレル・コンパイル方式, 情報処理学会プログラミング研究会 6-4, (1996 Mar).

- 解説・評論 (Survey Papers and Critiques)

1. 共著: 障害者アクセス'94 - 視覚障害を中心として, 慶應義塾大学環境情報研究所, KEIO-IEI-RM 95-03, (1995 March).
2. 共著: 二輪車事故の認知的分析と安全施策の研究, 慶應義塾大学環境情報研究所, KEIO-IEI-RM 95-04, (1995 March).
3. 共著: 臨場感通信における遠隔プレゼンテーションの研究, 慶應義塾大学環境情報研究所, KEIO-IEI-RM 95-05, (1995 March).
4. 共著: 情報処理教育 5 年間のあゆみ, 慶應義塾大学環境情報研究所, KEIO-IEI-RM 95-12, (1995 April).
5. 共著: 臨場感通信会議の将来形態に関する研究: 総合報告, 慶應義塾大学環境情報研究所, KEIO-IEI-RM 95-19, (1996 Feb).
6. 共著: マルチメディア外国語学習システムの開発と評価, 慶應義塾大学環境情報研究所, KEIO-IEI-RM 95-23, (1996 Mar).
7. 共著: 障害者のためのコンピュータアクセス'95, 慶應義塾大学環境情報研究所, KEIO-IEI-RM 95-24, (1996 Mar).

- 氏名 (Name)
依田 和夫 (YODA, Kazuo)
- 担当科目 (Scholastic Activity:Teaching)
行動環境設計論 II, 都市と環境, プロジェクト
- 研究分野 (Research Areas)
都市計画, 都市交通
- 研究プロジェクト活動 (Proposal and Award Activity)
 1. マレーシア国土地区画整理事業 国際協力事業団 (JICA)
 2. 横須賀市中央丘陵カルチャーゾーン (衣笠・長坂地区) 土地利用基本構想策定調査
 3. 国土庁・首都圏整備基本計画・計画部会
 4. 国土庁・関西文化学術研究都市第二ステージ構想委員会
 5. 仙台市・長町副都心形成検討調査 等
 6. 横須賀市都市計画マスタープラン策定調査
- 学外での役員・委員等 (Professional Activities)
(社) 日本都市計画学会会長, 神奈川県都市計画地方審議会委員, 藤沢市都市計画審議会委員, 横須賀市都市計画審議会 会長, (社) 日本交通計画協会 副会長, 鎌倉市都市政策専門委員, 建設省都市計画中央審議会専門委員, 神奈川県公害審査会委員 等
- 著書・論文等 (List of Full Length Refereed Papers)
 1. 論文発表:「日・韓・台 国際都市計画シンポジウム」, “Recent Trends and Activities of Regional Cities in Japan”, 於: 韓国, 主催: 韓国都市計画学会
- 学会・研究会発表等 (List of Conferences and Seminar Presentations)
 1. 講演「土地地区画整理事業導入の可能性について」, 於: マレーシア, 主催: マレーシア国 都市・住宅省 国際協力事業団 (JICA)

- 氏名 (Name)
渡辺 利夫 (WATANABE, Toshio)
- 担当科目 (Scholastic Activity:Teaching)
自己開発の心理, 認知の心理, 人間行動論, 認知科学, 研究会, 視環境評価プロジェクト, 情報解析法
- 研究分野 (Research Areas)
心理現象の数理解析, 空間の知覚と認知
- 研究プロジェクト活動 (Proposal and Award Activity)
乗用車購入における消費者の欲求分析に関する調査
- 学内委員等 (University Service, Committees etc.)
環境情報研究所運営会議委員, メディアセンター協議会委員, 3 技法カリキュラム委員, 教材・教授法開発委員
- 著書・論文等 (List of Full Length Refereed Papers)
 1. 「ヒューマンスケープ」, 日科技連出版社, 1996
 2. 「視覚三角形による視空間の曲率の推定」, 心理学研究 (掲載予定), 1996
- 学会・研究会発表等 (List of Conferences and Seminar Presentations)
 1. 「歩行空間の幾何学的構造に関する研究」, 日本心理学会第 59 回大会発表論文集, 1995
 2. 「歩行空間の幾何学」, 日本認知科学会第 13 回大会発表論文集, 1996
 3. “The geometry of walking space”, 国際心理学会発表論文集, 1996

- 氏名 (Name)
渡部 丹 (WATABE, Makoto)
- 担当科目 (Scholastic Activity:Teaching)
環境デザイン論, 建築
- 研究分野 (Research Areas)
地震工学・防災
- 研究プロジェクト活動 (Proposal and Award Activity)
エコシティー支援技術, 耐震, 実験
- 学内委員等 (University Service, Committees etc.)
GAO 委員会委員
- 学外での役員・委員等 (Professional Activities)
日本建築学会:地震防災委員会委員長, 通産省:原子力施設耐震特別委員会副委員長
- 学会・研究会発表等 (List of Conferences and Seminar Presentations)
 1. 1994 米国ノースリッジ地震による鋼構造建築物の地震被害について, 耐震特別講演会,1995
 2. THE CRITERIA FOR ASSESSMENT OF SEISMICALLY DAMAGED DEGREE OF BUILDING AND TECHNOLOGIES TO REPAIR THEM IN JAPAN, International Conference on Retrofitting by US-China Conference in Kunming, 1995
 3. LARGE SCALE TESTING FACILITIES FOR EARTHQUAKE ENGINEERING IN JAPAN,Earthquake Engineering Research Institute Conference San-Fransisco, 1995

慶應義塾大学 環境情報研究所 1995年度 年次報告書
Annual Report 1995 Keio Institute of Environmental Information
Keio University

創刊 1996年6月
著者 慶應義塾大学 環境情報研究所
〒252 神奈川県藤沢市遠藤5322 慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス 環境情報研究所
(電話)0466-47-5075 (FAX)0466-47-5085
発行者 湘南藤沢学会
編者 武藤佳恭
印刷所 (有)ブリカ